

令和3年度

教職員研修計画

学び続けよう、「一人一人を伸ばす教育」の実現のために

令和3年3月

新潟県教育委員会

目 次

1	新潟県教員等育成指標について	2
(1)	新潟県教員等育成指標の概要	2
(2)	新潟県教員等育成指標	4
(3)	「新潟県教員等育成指標」活用ガイド	6
	参考 指標策定の趣旨、経緯等について	10
	参考 指標と研修との相関	11
2	教職員研修計画の概要	12
(1)	令和3年度教職員研修の基本方針	12
(2)	令和3年度教職員研修の体系	13
(3)	令和3年度教職員研修の重点	14
(4)	効果的な研修実施のための方策	14
	ア 研修を奨励するための方途	14
	イ 関係機関との連携	15
	ウ 研修の効率的な実施	15
	エ 研修の効果を検証するための方途	15
	参考 令和3年度教職員研修計画策定に向けた見直しについて	16
	参考 新潟県教育支援システム利用案内	17
3	令和3年度教職員研修一覧	18
(1)	研修名・対象・実施主体等一覧表	18
(2)	研修の目的・内容・方法等一覧表	25

1 新潟県教員等育成指標について

(1) 新潟県教員等育成指標の概要

教員の大量退職・大量採用の時代を迎え、経験が少ない教員が増加する中、学習指導要領の改訂による教育課程・授業方法の改革への対応、次世代の学校づくり、特別な教育的ニーズのある児童生徒の増加、いじめによる重大事案の発生や問題行動の増加など、様々な教育課題への対応が求められています。

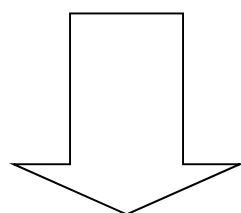
国においては、平成 29 年 4 月に「教育公務員特例法の一部を改正する法律」が施行され、教員等の資質の向上に関する指標を定めることとされたほか、指標に基づいた教員研修計画を策定するよう義務付けられたところです。

このような中、新潟県教育委員会では、平成 26 年に策定した「新潟県教育振興基本計画」の改定を進めており、基本理念を「一人一人を伸ばす教育」、今後目指すひとづくりの姿を「ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり」とし、それを実現するための重要な施策の 1 つに「教職員の資質・能力の向上」を掲げました。

これらを踏まえ、「学び続ける教員」として、本県の教員に必要と考える資質・能力を、キャリアステージに応じて明確にした指標を定め、教員自らが生涯にわたって、研修や OJT 等を通じて資質・能力の向上を図られるようにしました。

新潟県教育振興基本計画

本県教育の基本理念	一人一人を伸ばす教育 ～一人一人の個性に応じた、質の高い豊かな教育の推進～
今後目指すひとづくりの姿	ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり



《教育課題》

学習指導要領の改訂による教育課程・授業方法の改革
特別な教育的ニーズのある児童生徒の増加
いじめによる重大事案の発生や問題行動の増加 等

新潟県の教員に求められる資質・能力 《学び続ける教員》

教員としての素養	崇高な使命感、教職への誇りと情熱、児童生徒への愛情 高い倫理観・人権感覚、法令や服務規律の遵守、責任感 学び続ける姿勢（理想の教師像、目指す授業、新たな教育課題の解決） コミュニケーション力
学習指導力	授業構想、授業実践、評価・改善
生徒指導力	児童生徒理解、多様性理解、特別支援教育、いじめ等問題行動への対応、 進路指導及びキャリア教育
学校運営力	学級経営・学年経営、教職員間の連携・協働、家庭・地域連携、 学校安全・危機管理

(2) 新潟県教員等育成指標

新潟県 教員等育成指標について

教員の大量退職・大量採用の時代を迎える中、学習指導要領の改訂、次世代の学校づくり、いじめ問題への対応、特別な教育的ニーズに応じた指導の充実等、様々な教育課題への対応が求められています。

このような背景を踏まえ、「学び続ける教員」として、本県の教員に必要な資質・能力を、キャリアステージに応じて明確にした本指標を定めました。

目的

- 《教育委員会》 教員研修計画の立案、各研修の到達目標や内容を決める際の指標として活用
- 《学校》 OJT等、校内研修の指標として活用
- 《教員》 各期の必要な資質・能力を把握し、教員自らが資質・能力の向上を図っていく上での指標として活用

背景・課題

大量退職・大量採用の影響による経験の少ない教員の増加

学習指導要領の改訂による教育課程・授業方法の改革への対応

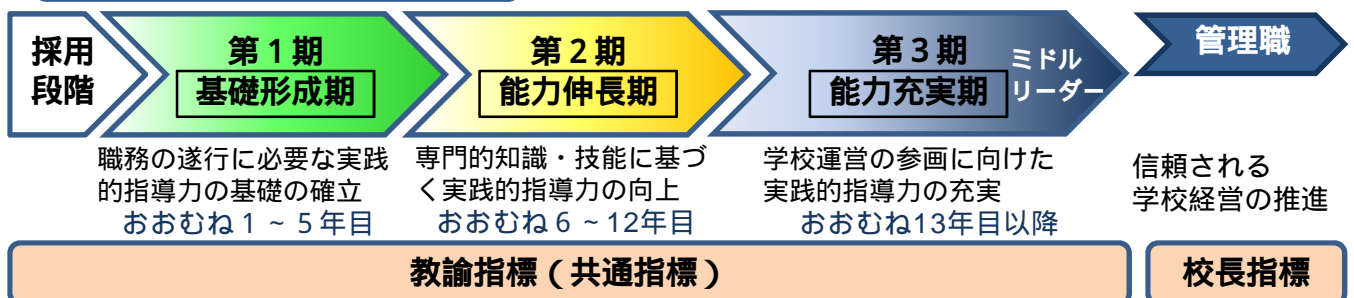
特別な教育的ニーズのある児童生徒の増加

いじめによる重大事案の発生や問題行動の増加 等

新潟県の教員に求められる資質・能力



キャリアステージの区分



教諭指標(共通指標)

区分	観点	着任時 (採用段階)	第1期	第2期	第3期	特に ミドルリーダー に求めるもの	
			基礎形成期	能力伸長期	能力充実期		
			職務の遂行に必要な実践的指導力の基礎の確立	専門的知識・技能に基づく実践的指導力の向上	学校(園)運営の参画に向けた実践的指導力の充実		
			1~5年目	6~12年目	13年目以降		
教員の素養として	教育公務員としての崇高な使命を自覚し、教職への誇りと情熱、児童生徒への愛情をもつ。 高い倫理観、人権感覚をもち、法令や服務規律の遵守を徹底し、責任をもって自らの職務を果たす。 学び続けることの重要性について理解し、理想の教師像や目指す授業、新たな教育課題の解決に向けて常に努力し続ける。 コミュニケーションを大切にしながら、周囲との信頼関係を構築する。						
学習指導	授業構想	学習指導要領の目標と内容に沿って、児童生徒の実態に合った授業を行うことの重要性を理解している。	児童生徒の実態を把握した上で、単元を通して育む資質・能力とねらいを明確にした授業を立案する。	身近な生活や社会につながる授業や、児童生徒の主体的な学びを導く授業・単元の構想を立てる。	高い専門性を基に、周りにある教育資源や新しい指導方法を効果的に取り入れ、他の教員の模範となる授業を行う。	学校全体の学習上の諸問題を把握し、教育課程や授業づくりについて、小・中・高連携の視点をもち、組織的に校内研究を進める。	
	授業実践	板書や発問等の基本的技術を身に付けるとともに、児童生徒の考えを引き出す課題を設定しようとしている。	主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえ、児童生徒が基礎的・基本的な知識、技能を身に付けることのできる授業を展開する。	主体的・対話的で深い学びの実現を図り、児童生徒が自ら課題を見つけ、解決していく授業を行う。	主体的・対話的で深い学びを組織的に推進し、適切な指導・助言を行いながら、授業改善を進める。		
	評価・改善	目標に準拠した評価規準の設定や、活動に合った評価方法を用いて評価しようとしている。	学習評価の在り方を理解し、評価規準を用いて児童生徒の学習状況を把握し、指導を改善する。	教科等の目標の実現に向けて、PDCAサイクルを確立し、指導計画の改善を図る。	学力向上や授業評価、授業改善等の視点をもち、学年内や教科内の授業改善を組織的に行う。		
生徒指導	児童生徒理解、多様性理解	児童生徒一人一人の実態に沿った指導の重要性を理解している。 インクルーシブ教育システム等、多様性を尊重し、共生を図るための基本的な指導の在り方を理解している。	児童生徒と積極的にコミュニケーションを図るとともに、公平かつ受容的・共感的に関わる。 児童生徒の多様性を理解し、多様性を生かした教育活動を実践する。	児童生徒一人一人の心身の特性や状況、生活環境等を多面的に捉え、個に応じた指導・支援を行う。	教職員の多様な専門性を活用し、連携・協働して組織的に児童生徒の指導・支援を行う。	生徒指導を組織的・計画的に行うための長期的な見直しをもち、関係機関や小・中・高との連携を図りながら、教職員に対して指導・助言をする。	
	特別支援教育	特別支援教育の基本的な指導・支援の考え方及び合理的配慮等の在り方について理解している。	個々の特別な教育的ニーズに応じた指導方法を工夫し、合理的配慮等に基づいた指導を行う。	個別的教育支援計画に基づいた支援が継続するよう、その評価・改善を適切に行う。	個別的教育支援計画に基づき、必要に応じて関係機関との連携や活用を進め、組織的・継続的な支援を行う。		
	いじめ等の問題行動への対応	いじめや不登校等の背景にある問題の把握と問題解決に向けた適切な指導・支援が重要であることを理解している。	日常的な観察や会話、アンケート調査、面談等とおしていじめの早期発見と即時対応、不登校の未然防止に努める。	児童生徒が抱える課題や困難を分析し、いじめや不登校等の予防・解決に向けた適切な指導・支援を行う。	いじめや不登校等の現状について常に情報を収集し、予防や解決に向けて組織的な対応による適切な指導や支援を行う。		
	進路指導及びキャリア教育	キャリア教育の必要性と意義、育成すべき諸能力を理解している。	児童生徒の夢や進路への思いを受け止め、率先してキャリア教育に取り組む。	キャリアカウンセリングを通して、児童生徒の進路や将来を見据えたキャリア教育を実践する。	小・中・高との連携を図りながら、進路指導やキャリア教育の指導計画の整備に参画する。		
学校運営	学級経営・学年経営	学級担任の役割と職務内容及び、学校運営と組織編成の方針、校務分掌の内容を理解している。	教育目標を理解し、児童生徒の実態を踏まえ、学級内での良好な人間関係づくりに努め、組織的に活動させる。	教育目標や学校の経営方針を踏まえ、同僚の教職員と連携を図りながら、積極的に学級・学年経営に参画する。	教育目標や学校の経営方針を踏まえ、同僚の教職員に適切な支援、助言を行いながら主体的に学級・学年経営を推進する。	学校運営について、創造的なビジョンの構想やプラン構築に参画し、教育活動を活性化させる。	
	教職員間の連携・協働	社会人として良識ある言動に努め、円滑な人間関係を築こうとしている。	他の教職員と積極的に関わり、疑問点や悩みを相談したり、共有したりしながら自己改善を進める。	互いの課題や悩みに気付き、支え合える環境をつくるとともに、経験の少ない教職員を積極的に支援する。	学校全体の教職員の特性を踏まえ、役割分担を調整するとともに、経験に応じた効果的な人材育成の環境を整える。		
	家庭・地域連携	家庭や地域との連携の必要性と在り方を理解している。	家庭や地域と積極的にコミュニケーションをとり、良好な関係を築く。	家庭・地域・関係機関との関わりを深め、連携・協働して教育活動を行う。	家庭・地域・関係機関からの要望等の情報収集に努め、連携・協働のネットワークを形成する。		
	学校安全、危機管理	危機管理の重要性とともに、未然防止や危険を察知した場合に素早い行動をとること等の必要性を理解している。	いじめ、心のケア、アレルギー対応等、その未然防止と安全配慮義務について理解し、適切に対応する。	緊急事態発生への対応について日頃から組織的な動きをイメージし、未然防止に努め、事故が起こったとき迅速に対応する。	緊急事態発生への対応について日頃から中核的な役割を担い、未然防止に努め、事故へ迅速かつ組織的に対応する。		

着任時： 着任時点で身に付けてほしい資質・能力(大学等における教員養成の到達目標)

第1期～第3期： 各期において、最終的に到達してほしい資質・能力(到達目標)

校長指標

区分	観 点	項 目
人間性・識見		学び続ける姿勢と高い教育理念に基づき、広い視野で公教育及び学校を取り巻く社会的・文化的状況を把握し、自ら行動し、粘り強く職務に取り組み、未来を切り拓く児童生徒の確かな成長を促す。
学校経営	学校経営方針の設定と達成	国や県、市町村教育委員会の教育施策及び児童生徒の実態や保護者・地域社会の期待を把握する。 時代や社会のニーズを踏まえて、学校の将来ビジョンを設定し、その具現化に向けて、教職員に具体的な計画や手立てを提示する。
	組織運営の整備	「チーム学校」として適材適所の人材活用を図り、教職員の役割や校内外の協力体制を明確にするとともに、適宜組織体制の見直しを行う。 特色ある学校づくりや開かれた学校づくりに向け、PDCAサイクルに基づき、計画的・効果的な教育活動を推進する。
	家庭・地域社会との連携	保護者会や学校運営協議会での報告及び各種広報活動等により、学校教育活動の内容を地域等に周知する。 関係機関や家庭・地域社会と連携を図り、人的・物的資源を有効に活用する。
学校教育の管理	教育課程の編成と管理	地域や学校の実態を考慮し、カリキュラム・マネジメントの視点をもって「社会に開かれた教育課程」の実現を推進する。 教育課程の編成方針について教職員を指導し、学校評価等の結果を用いて教育課程の実施状況を確認し、改善を図る。
	児童生徒の管理	児童生徒の健康及び安全を適正に管理し、事件や事故の未然防止に取り組む。 いじめ等の事案や特別な支援を要する児童生徒への対応に関して、常に正確な情報収集に努め、迅速かつ適切な対応を行う。
	予算・施設等の管理	教育活動の質の向上に向けて、予算執行・文書管理・施設管理を適正に行う。
教職員の管理・育成	勤務環境の管理	教職員とのコミュニケーションを図り、信頼関係を築くとともに、同僚性の高い働きやすい職場づくりを行う。 勤務時間等、勤務環境の管理、把握に努め、メンタルヘルス不調やハラスメント等の防止、多忙化解消に向けて、適切に対応する。
	服務規律の確保	学校における服務監督者として、教職員の日常の勤務状況等を把握し、個別指導を行うとともに、非違行為の根絶に向けて指導を徹底する。 信頼される学校づくりに向け、教職員の人権感覚の向上を図るとともに、保護者や地域社会等との対応について具体的に指導する。
	教職員の育成	一人一人の能力や適性を丁寧に把握し、キャリアステージに応じた役割を与えるとともに、職務状況を的確に評価し、指導助言を行う。 研修体制の組織化とOJTの推進を図り、「学び続ける教員」を育成する。
危機管理	学校安全管理	「危機管理マニュアル」の見直し、改善に努め、学校事故の未然防止と事故発生時の組織的対応に取り組む。
	学校情報管理	学校ホームページ、校内ネットワーク、ソフトウェア等を適切に管理するとともに、個人情報漏洩防止のため、セキュリティ管理を徹底する。

活用例（教諭・第1期（おおむね1～5年目））

区分	観点	第1期 基礎形成期		
		職務の遂行に必要な実践的指導力の基礎の確立 1～5年目	OJTにおける具体的な活用例	新潟県教育委員会による研修講座
		学習指導	<p>授業構想 児童生徒の実態を把握した上で、単元を通して育む資質・能力とねらいを明確にした授業を立案する。</p> <p>授業実践 主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえ、児童生徒が基礎的・基本的な知識、技能を身に付けることのできる授業を展開する。</p> <p>評価・改善 学習評価の在り方を理解し、評価規準を用いて児童生徒の学習状況を把握し、指導を改善する。</p>	<p>学年主任や指導教諭等、校内の教員の授業を参観し、教材や板書の仕方、発問等についての指導技術について参考にする。</p> <p>学年や教科会等で自校の課題を見だし、具体的な解決策について相談したり協議したりする。</p> <p>校内研修において、研究授業の協議会等の中で、授業展開について質問したり、意見を述べる。</p> <p>新潟県教育支援システム（P.11参照）を活用し、授業案を参考にする。</p>
生徒指導	<p>児童生徒理解、多様性理解 児童生徒と積極的にコミュニケーションを図るとともに、公平かつ受容的・共感的に関わる。 児童生徒の多様性を理解し、多様性を生かした教育活動を実践する。</p> <p>特別支援教育 個々の特別な教育的ニーズに応じた指導方法を工夫し、合理的配慮等に基づいた指導を行う。</p> <p>いじめ等の問題行動への対応 日常的な観察や会話、アンケート調査、面談等をおおしていじめの早期発見と即時対応、不登校の未然防止に努める。</p> <p>進路指導及びキャリア教育 児童生徒の夢や進路への思いを受け止め、率先してキャリア教育に取り組む。</p>	<p>自校の生徒指導体制や生徒指導上の諸課題について、生徒指導主事や進路指導主任等から、アドバイスを受け指導改善に生かす。</p> <p>学年部や生徒指導に関する研修等でテーマを決め、グループで相談したり、生徒指導に関する取組について協議したりする。</p> <p>生活指導主任会等の中で、実態を踏まえた方策を提案したり、意見を述べたりする。</p> <p>特別支援教育において、事例に基づいて指導の方法や内容を協議し、普段の授業改善に取り入れる。</p>	<p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新採研（幼）基礎研修 ・新採研（幼）保育参観研修 ・新採研（幼）保育技能研修 ・初任研（小・中・特）生徒指導研修 ・初任研（高）生徒指導研修 ・初任研（高）社会奉仕体験活動 ・初任研（高）教育一般研修 ・新採研（養）健康相談研修 ・新採研（養）特別支援学校参観研修 ・新採研（栄）食育研修 ・教職2年次研修（小・中・特） ・教職2年次研修（養） ・情報モラルに係るネットトラブル対応講座 ・子どものいのちと心の危機対応力向上講座 ・感情をコントロールする力と社会性を育てる生徒指導講座 ・新任特別支援学級担任教員研修 ・通級指導等担当研修 ・特別支援教育入門講座 ・発達障害教育基礎講座 	
学校運営	<p>学級経営・学年経営 教育目標を理解し、児童生徒の実態を踏まえ、学級内での良好な人間関係づくりに努め、組織的に活動させる。</p> <p>教職員間の連携・協働 他の教職員と積極的に関わり、疑問点や悩みを相談したり、共有したりしながら自己改善を進める。</p> <p>家庭・地域連携 家庭や地域と積極的にコミュニケーションをとり、良好な関係を築く。</p> <p>学校安全、危機管理 いじめ、心のケア、アレルギー対応等、その未然防止と安全配慮義務について理解し、適切に対応する。</p>	<p>学年主任や指導教諭等からアドバイスを受けながら、児童生徒が互いのよさを認め合い、安心して安全な学校生活を送れる温かい学級づくりに取り組む。</p> <p>校務分掌の部会等で、主任教諭や指導教員等から進行計画の立案や進捗状況の報告、振り返りなどの指導や助言を受けながら業務を遂行する。</p> <p>学年や分掌部会等でテーマを決め、グループで相談したり、協議したりする。</p> <p>保護者面談や学年PTA等の場面における、学年主任や他教員の対応の仕方について知識、理解を深める。</p>	<p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新採研（幼）基礎研修 ・新採研（幼）宿泊研修 ・新採研（幼）学校参観研修 ・初任研（小・中・特・高）集団活動研修 ・初任研（小・中・特）教育方法研修 ・初任研（小・中・特）体験研修 ・初任研（高）教育一般研修 ・初任研（高）宿泊研修 ・新採研（養）集団活動研修 ・新採研（養）健康相談研修 ・新採研（栄）専門研修 ・新採研（栄）集団活動研修 ・教職2年次研修（小・中・特） ・教職2年次研修（高） ・教職2年次研修（養） ・豊かな心をはぐくむ道徳教育講座 ・ルールとリレーションで子どもの笑顔をつくる学級経営力向上講座 ・水泳プール安全管理講習会 ・柔道安全指導研修会 	

活用例（教諭・第2期（おおむね6～12年目））

区分	観点	第2期 能力伸長期		
		専門的知識・技能に基づく実践的指導力の向上	OJTにおける具体的な活用例	新潟県教育委員会による研修講座
		6～12年目		
学習指導	授業構想	身近な生活や社会につながる授業や、児童生徒の主体的な学びを導く授業・単元の構想を立てる。	校内研究の協議会等において、指導のねらいを踏まえ、授業における児童生徒の実際の姿を基に積極的に発言する。 校内研究等において、校内の教員と「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業展開について実践をとおして意見交換する。 自分の得意な教科や分野、専門としている教科・領域について、実践をとおして若手教員に指導や助言を行う。	【研修例】 ・教職6年次研修（養） ・教職6年次研修（小・中・特） ・教職6年次研修（高） ・教職6年次研修（栄）食育研修 ・教科リーダー養成講座（小・中・特） ・教科リーダー養成講座（高） ・ICTを活用して資質・能力の育成を図る単元デザイン講座 ・豊かな心をはぐくむ道徳教育講座 ・道徳教育パワーアップ研究協議会 ・1人1台端末活用講座 ・ICTを活用した授業づくりリーダー養成講座 ・小学校プログラミング教育推進講座 ・小学校外国語実践講座 ・英語4技能5領域が育つ深い学び実現講座 ・小学校理科基礎講座 ・理科授業力向上講座 ・先端科学技術活用講座 ・保健教育実践講座
	授業実践	主体的・対話的で深い学びの実現を図り、児童生徒が自ら課題を見つけ、解決していく授業を行う。		
	評価・改善	教科等の目標の実現に向けて、PDCAサイクルを確立し、指導計画の改善を図る。	新潟県教育支援システム（P.11参照）を活用し、授業案を参考にする。	
生徒指導	児童生徒理解、多様性理解	児童生徒一人一人の心身の特性や状況、生活環境等を多面的に捉え、個に応じた指導・支援を行う。	日常の学校生活の実態から自校の生徒指導や進路指導上の課題に気づき、会議等で問題提起する。 他学年や他の学級の児童生徒の様子を観察し、生活指導上の課題について、情報共有したり、共に対応したりする。 特別支援教育において、関係機関と共に事例検討を行い、支援等の一貫性をもたせ、将来に目を向けた授業改善を進める。	【研修例】 ・教職6年次研修（幼） ・教職6年次研修（小・中・特） ・教職6年次研修（高） ・教職6年次研修（栄） ・教職6年次研修（養） ・情報モラルに係るネットトラブル対応講座 ・いじめ対策推進教員研修会 ・子どものいのちと心の危機対応力向上講座 ・チーム学校で進める協働的な教育相談講座 ・人権教育、同和教育指導者研修会（小・中） ・人権教育、同和教育研修会（高） ・人権教育、同和教育現地等研修会（小・中・高） ・通級指導等担当研修 ・特別支援教育入門講座 ・発達障害に関する指導困難事例対応講座 ・特別支援教育コーディネーター専門研修 ・高等学校特別支援教育コーディネーター研修 ・食育研修 ・薬物乱用防止教育指導者研修会 ・養護教諭健康相談講座
	特別支援教育	個別的教育支援計画に基づいた支援が継続するよう、その評価・改善を適切に行う。		
	いじめ等の問題行動への対応	児童生徒が抱える課題や困難を分析し、いじめや不登校等の予防・解決に向けた適切な指導・支援を行う。		
	進路指導及びキャリア教育	キャリアカウンセリングを通して、児童生徒の進路や将来を見据えたキャリア教育を実践する。		
学校運営	学級経営・学年経営	教育目標や学校の経営方針を踏まえ、同僚の教職員と連携を図りながら、積極的に学級・学年経営に参画する。	学級づくりや学年運営について自校の重点課題を踏まえて、学年間や職員間で協力しながら、改善策について協議する。 学年や校務分掌の担当者として、適切な外部機関との情報共有を行ったり、外部機関との連携を図ったりする。 担当する校務分掌に関わって、重点課題や内容、業務の進め方について、若手教員に指示をする。	【研修例】 ・教職6年次研修（幼） ・教職6年次研修（小・中・特） ・教職6年次研修（高） ・教職6年次研修（栄） ・教職6年次研修（養） ・豊かな心をはぐくむ道徳教育講座 ・ルールとリレーションで子どもの笑顔をつくる学級経営力向上講座 ・学校安全教育指導者研修会 ・水泳プール安全管理講習会 ・柔道安全指導研修会
	教職員間の連携・協働	互いの課題や悩みに気付き、支え合える環境をつくるとともに、経験の少ない教職員を積極的に支援する。		
	家庭、地域連携	家庭、地域、関係機関との関わりを深め、連携・協働して教育活動を行う。		
	学校安全、危機管理	緊急事態発生への対応について日頃から組織的な動きをイメージし、未然防止に努め、事故が起こったとき迅速に対応する。	自校の教育課題を踏まえ、学年主任や校務分掌主任を補佐し、組織の一員として、課題解決のための具体的方策について提案する。	

活用例（教諭・第3期（おおむね13年目～））

区分	観点	第3期 能力充実期		
		学校(園)運営の参画に向けた実践的指導力の充実 13年目～	OJTにおける具体的な活用例	新潟県教育委員会による研修講座
		学習指導	<p>授業構想 高い専門性を基に、周りにある教育資産や新しい指導方法を効果的に取り入れ、他の教員の模範となる授業を行う。</p> <p>授業実践 主体的・対話的で深い学びを組織的に推進し、適切な指導・助言を行いながら、授業改善を進める。</p> <p>評価・改善 学力向上や授業改善、授業評価等の視点を持ち、学年や教科の授業改善をリードする。</p>	<p>校内の研究授業や研究会等で、積極的に提案授業を行う。</p> <p>校内の教員の授業を定期的な観察し、指導のねらいに即して児童生徒の姿を基に指導・助言する。</p> <p>自校の教科部会や校内研究等において、課題を踏まえながら、若手の教員に対して指導・助言を行う。</p> <p>指導と評価が一体となった模範授業を実施し、自校全体の授業力を向上させる提案をする。</p>
生徒指導	<p>児童生徒理解、多様性理解 児童生徒の指導について、教職員の組織を活用し全校体制づくりを推進する。</p> <p>特別支援教育 個別の教育支援計画に基づき、必要に応じて関係機関の連携・活用を進め、組織的・継続的な教育的支援を行う。</p> <p>いじめ等の問題行動への対応 いじめや不登校等の現状について常に情報を収集し、予防や解決に向けて組織的な対応によって適切な指導や支援を行う。</p> <p>進路指導及びキャリア教育 小・中・高の連携を図りながら、自校のキャリア教育の指導計画の整備に参画する。</p>	<p>日頃から校内の教員とのコミュニケーションを図り、各学年の状況と課題を把握し、管理職や主幹教諭等に報告する。</p> <p>児童生徒の行動観察や教員からの情報に基づき、自校の生徒指導・進路指導の課題を捉え、改善策を示す。</p> <p>保護者や地域からの外部アンケート、保護者会等で出された課題を整理・集約して管理職や主幹教諭等に報告する。</p> <p>特別支援教育において、実際に関係機関と連携したり、活用したりして、具体的な支援を実行していく。それとともに自立と社会参加を見据えた授業改善に取り組む。</p>	<p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅研（幼）コース別研修 ・中堅研（幼）保育専門研修 ・中堅研（幼）全体研修 ・中堅研（幼）社会体験研修 ・中堅研（小・中・特）コース別研修 ・中堅研（高）コース別研修 ・中堅研（小・中・特）（養）（栄）全体研修 ・中堅研（高）全体研修 ・中堅研（養）健康相談研修 ・中堅研（栄）専門研修 ・食育研修 ・情報モラルに係るネットトラブル対応講座 ・いじめ対策推進教員研修会 ・いじめ・不登校等対応力向上研修 ・子どものいのちと心の危機対応力向上講座 ・チーム学校で進める協働的な教育相談講座 ・人権教育、同和教育指導者研修会（小・中） ・人権教育、同和教育担当者会議（高） ・人権教育、同和教育現地等研修会（小・中・高） ・通級指導等担当研修 ・特別支援教育入門講座 ・発達障害に関する指導困難事例対応講座 ・特別支援教育コーディネーター専門研修 ・高等学校特別支援教育コーディネーター研修 ・薬物乱用防止教育指導者研修会 ・養護教諭健康相談講座 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅研（小・中・特）コース別研修 ・中堅研（高）コース別研修 ・中堅研（養）健康相談研修 	
学校運営	<p>学級経営・学年経営 教育目標や学校の指導の方針を踏まえ、同僚の教員に適切な支援、助言を行いながら主体的に学級・学年経営を推進する。</p> <p>教職員間の連携・協働 学校全体の教員の特性を踏まえ、役割分担を調整するとともに、教員の経験に応じた効果的な人材育成の環境を整える。</p> <p>家庭、地域連携 家庭、地域、関係機関からの要望等の情報収集に努め、連携・協働のネットワークを形成する。</p> <p>学校安全、危機管理 緊急事態発生への対応について日頃から中核的な役割を担い、未然防止に努め、事故へ迅速かつ組織的に対応する。</p>	<p>自校の教育課題について、課題を明確にし、研修会等の機会をとおして、学級づくりや学年運営に関して適切に指導・助言する。</p> <p>外部機関や異校種間連携に係る諸会議の進行、研究会等の企画や運営等を行う。</p> <p>学校評価の目標の達成状況について、管理職や主幹教諭等の指導・助言を受けてまとめ、会議等で報告する。</p> <p>校内研究や研修会等の司会を担当し、論点などの整理等を行う。</p>	<p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅研（幼）全体研修 ・中堅研（幼）コース別研修 ・中堅研（小・中・特）コース別研修 ・中堅研（高）コース別研修 ・中堅研（小・中・特）全体研修 ・中堅研（高）全体研修 ・中堅研（養）全体研修 ・中堅研（養）専門研修 ・中堅研（養）関係機関研修 ・中堅研（栄）全体研修 ・中堅研（栄）専門研修 ・養護教諭ミドルリーダー入門講座 ・小・中・特別支援学校新任主幹教諭研修 ・豊かな心をはぐくむ道徳教育講座 ・ルールとリレーションで子どもの笑顔をつくる学級経営力向上講座 ・学校安全教育指導者研修 ・柔道安全指導研修会 	

参考 指標策定の趣旨、経緯等について

指標策定の趣旨

教育公務員特例法等の一部を改正する法律により、教員等の任命権者（教育委員会等）は、校長及び教員の職責、経験及び適性に応じてその資質向上を図るための必要な指標を定めることとされた。
（平成 29 年 4 月 1 日施行）

《教育公務員特例法等の一部を改正する法律（第 22 条の 3，4）》

教員等の任命権者（教育委員会等）は、教育委員会と関係大学等で構成する協議会を組織し、指標に関する協議等を行い、国の指針を参酌しつつ、校長及び教員の職責、経験及び適性に応じてその資質の向上を図るための必要な指標を定めるとともに、指標を踏まえた教員研修計画を定める。

《法改正の趣旨》

経験の浅い教員が増加する中で、教育課程・授業方法の改革への対応を図るため、養成・採用・研修の各段階を通じて、教育委員会と大学等が協働して教員の資質向上を図るもの。

国の指針(概要)

1 教員等の職等の範囲

校（園）長及び教育公務員特例法第 2 条第 2 項に定める「教員」を対象

〔公立学校の校（園）長、副校（園）長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、
主幹保育教諭、保育教諭及び講師（任用の期限を付されて採用されている者を除く）〕

共通の指標を策定することが可能

校長については、個別の指標の策定を検討するなど、他の職とは明確に区別できるよう留意が必要

2 職責、経験及び適性に応じた成長段階の設定

必ず、新採用教員に対して任命権者が求める資質を第 1 の段階として設定する。

「経験年数 1～5 年」「第一ステージ、第二ステージ」（参考例）等の成長段階を設定する。

指標策定の経緯

平成 29 年 4 月	教育公務員特例法の一部を改正する法律の施行
平成 29 年 9 月	「新潟県教員等資質向上に関する連携協議会」（以下、「協議会」という。）を設置 ・第 1 回協議会（9/15） 指標の枠組みを検討 ・第 2 回協議会（11/14） 指標案を検討
平成 29 年 12 月	協議会での協議を踏まえ、指標を策定

協議会委員

H29 年発足当時

1 3 名で構成（座長：教育次長）

大学関係者 2 人（新潟大学、上越教育大学） 県内他大学には意見照会を実施

教育委員会 5 人（教育次長、義務教育課長、高等学校教育課長、保健体育課長、教育センター所長）

校長 4 人（小・中・高校・特別支援学校長）

市町村 2 人（都市教育長協議会（加茂市） 町村教育長会（田上町））

2 教職員研修計画の概要

(1) 令和3年度教職員研修の基本方針

GIGA スクール構想の実現、特色ある学校づくりなど、よりよい教育に向けた取組に加え、複雑かつ多様化する諸課題に対応するため、自ら学び続ける姿勢を持ち、問題解決に取り組む総合的な人間力やICT機器の活用スキル、専門職としての知識と実践的指導力を有した教員が求められている。

そのため、教職経験に応じて実施する基本研修を中心として、特別な教育的支援やいじめ等問題行動、本県の教育課題等に対応するより実践的な指導力の向上を図る専門研修を実施する。

(2) 令和3年度教職員研修の体系

基本研修

教職経験年数に応じて初任者、2年目、6年目、13年目を対象とした研修を実施する。

- 1 初任者研修 職務の遂行に必要な資質・能力の向上を図る。
 - ・ 初任者対象
- 2 教職2年次研修 学級担任または養護教諭としての資質・能力の向上を図る。
 - ・ 教職経験2年目教諭対象
- 3 教職6年次研修 本県教育の課題を認識し、実践的指導力の向上を図る。
 - ・ 教職経験6年目教諭対象
- 4 中堅教諭等資質向上研修 中堅教諭としての資質・能力の更なる向上を図る。
 - ・ 教職経験13年目教諭対象

専門研修

専門研修として、課題別研修、職務別研修を実施する。

- 1 課題別研修
 - (1) 学習指導 学力向上、教科課程、各教科に対応した研修。
 - (2) 生徒指導 児童生徒理解・多様性理解、特別支援教育、いじめ等の問題行動への対応、進路指導等に関する研修。
 - (3) 学校運営 学級・学年経営、教職員間の連携・協働、家庭・地域連携、学校安全・危機管理に関する研修。
- 2 職務別研修 以下の職務別に実施する研修。
 - (1) 校長等
 - (2) 養護教諭
 - (3) 栄養教諭・職員
 - (4) 事務職員等
 - (5) 実習助手
 - (6) 寄宿舎指導員
 - (7) 学校技術員・調理師・介助員・司書
 - (8) ALT
 - (9) 給食運営職員
 - (10) 保幼小担当職員
 - (11) 臨時職員

実践力向上研修

各学校園の実態に即した実践的な指導力を身に付けさせるため、希望する学校園に教育センターの指導主事を派遣して教科等に係る校内研修等を支援する。

令和3年度 新潟県教職員研修体系

研
修
体
系

基本研修

教職経験年数に応じて実施

初任者対象

1 初任者研修

教諭（幼、小、中、高、特、養、栄養）

教職経験2年目教諭対象

2 教職2年次研修

教諭（小、中、高、特、養）

教職経験6年目教諭対象

3 教職6年次研修

教諭（幼、小、中、高、特、養、栄養）

教職経験13年目教諭対象

4 中堅教諭等資質向上研修

教諭（幼、小、中、高、特、養、栄養）

専門研修

悉皆・指名・割当・希望により実施

1 課題別研修

(1) 学習指導 (2) 生徒指導 (3) 学校運営

2 職務別研修

(1) 校長等 (2) 養護教諭 (3) 栄養教諭・職員
(4) 事務職員等 (5) 実習助手 (6) 寄宿舍指導員
(7) 学校技術員・調理師・介助員・司書 (8) ALT
(9) 給食運営職員 (10) 保幼小担当職員 (11) 臨時職員

実践力向上研修

学校園、市町村教育委員会等の依頼により、指導主事を派遣して実施

(3) 令和3年度教職員研修の重点

各研修における教員等育成指標等に基づく重点事項は以下のとおりである。

ア 基本研修

学び続ける教員の育成

初任者研修において、校内研修として基本研修、授業研修のほか、「学校や初任者の実態に応じた研修」にOJT研修の実施も可能とし、学校や初任者が主体性を発揮して研修に取り組み、学び続ける教員を育成する研修を実施する。

児童生徒理解・多様性理解の促進

- ・ 初任者研修、教職6年次研修及び中堅教諭等資質向上研修において、いじめ問題や不登校児童生徒、特別な支援を必要とする児童生徒への対応、学級における人間関係の指導、共感的な理解をもって児童生徒に接する方法などを学ぶ研修を行う。
- ・ 養護教諭の教職経験者研修では、いじめ問題や不登校への対応に関する研修として、いじめについての基本的な認識を深めるとともに、具体的な指導のあり方や学校内外での連携についての研修を行う。

ミドルリーダーの養成

中堅教諭等資質向上研修において、コース別研修でミドルリーダーとしての校内組織マネジメント力の向上を図るとともに、学習指導研修で小・中・高・特合同の授業公開・協議会を実施し、小・中・高・特を見通した授業力の向上を図る。

イ 専門研修

学力向上への対応

主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善に向けて、ICTの効果的活用を視野に入れた単元構成をつくり、実践するとともに、全校的な授業改善の推進体制をつくることのできる中核的教員を育成するため「ICTを活用して資質・能力の育成を図る単元デザイン講座」の実施や、各教科におけるICT機器の活用方法及びICT教材の作成について理解を深め、自校でのICTを活用した授業展開スキルの向上を図るための「教科別ICT活用研修」を行う。また「教科教育専門監育成研修」において、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業実践や研修会の開催及び研修会への参加を通して、教科に関する知見を深めるとともに、地域の教科リーダー、授業力向上のアドバイザーとして他の職員を指導する力を育成する。

情報教育への対応

教員のICT活用指導力の向上を図るための「タブレット端末活用研修会」を始めとして、タブレット端末の一括管理を行うためのシステム研修や、特別支援学校に関する障害別に応じたICTの活用方法について理解を深める研修実施など、ICTを活用した学習指導のスキル向上を図る。

校務処理効率化への対応

増加する教職員の業務負担を軽減し、校務処理業務を効率化するための「統合型校務支援システム導入に係る研修」を実施する。

ウ 実践力向上研修

各学校園における教科指導や教育相談、特別支援教育等に関して、学校の実態や市町村における教育課題に応じ、指導主事による研修プログラムの作成や実地の指導を通じ、教員の実践的な指導力の向上と校内研修を支援する。

(4) 効果的な研修実施のための方策

ア 研修を奨励するための方策

研修の目的と目標を明確に設定し、研修内容の妥当性や研修方法の有効性を評価しやすいものとする。

研修受講者に対するアンケート調査の結果をもとに、目標達成度、内容満足度等を把握し、研修担当課、教育センター、教育事務所で協議し、研修内容の改善・充実を図る。

「新潟県教育支援システム」の利活用を図り、校長及び教員等が、より主体的に研修に取り組めるよう支援する。

研修体系図や、教員等育成指標の活用ガイドにより、自己のキャリアステージに合致した研修講座を提示した。また、OJTにおける活用場面を例示することにより、目指すべき姿の達成のために必要な研修を主体的に選択できるようにしている。

イ 関係機関との連携

大学

- ・ 校長及び教員等の資質・能力の向上を図るため、県内大学と県教育委員会との間で連携協議会を設け、教員養成・採用・研修のあり方について、情報共有及び連携を図る。
- ・ 大学院派遣研修において、教員としての専門性を高めるため県内大学院への派遣を行う。
- ・ 大学教員による校内研修へのかかわりを推進し、大学教員リストの作成を進めるほか、大学と教職員との人事交流の促進を図る。
- ・ 先端科学技術活用講座において、受講者が大学に出向いて講義を受け、それに関する観察、実験、演習を行う。

関係施設

中堅教諭等資質向上研修（幼稚園、養護教諭）において、児童福祉施設である児童自立支援施設等の見学の受け入れや職員による講義等で協力を得る。

企業

初任者研修（高等学校）の企業訪問において、職員による講義や見学の受け入れ等により協力を得る。

ウ 研修の効率的な実施、多忙化解消への対応

基本研修の実施方法の見直し（P.16 研修の見直しイメージ図 参照）

- ・ 「学び続ける教員」として生涯にわたって研修やOJT等を通じて資質・能力の向上を図り、指導力向上のため自ら主体的に学ぶ研修とする。

ウェブ会議システム等を活用した研修形態の多様化

地区別開催を推進するほか、県立教育センターと上越、中越、佐渡の4拠点を結ぶウェブ会議システムを配備し、研修への導入を拡大させることで、離島や遠隔地間の移動を縮減し、受講者のさらなる負担軽減を進める。

新潟県教育支援システムの運用（P.17 教育支援システム利用案内 参照）

「新潟県教育支援システム」の利活用を図り、教材や指導案等の情報共有を通じた業務の効率化を支援する。

エ 研修の効果を検証するための方途

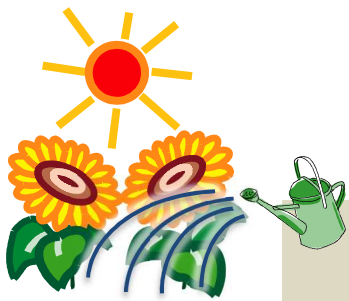
受講者アンケート等の実施

- ・ 研修・講座が教職員の資質・能力の向上と県の教育課題の解決にどの程度有効であったか、受講者にアンケートを実施する。
- ・ アンケートの集約結果を基に考察及び改善案を提案し、次年度の研修・講座実施計画に反映させ、研修の一層の充実を図る。
- ・ 教職員研修計画に関する意見を下記窓口で受け付ける。

【窓口】

新潟県教育庁総務課企画係 〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1
TEL：025-280-5587 FAX：025-285-3766

新潟県立教育センター 〒950-2144 新潟市西区曾和100-1
TEL：025-263-1094 FAX：025-261-0006



令和3年度 教職員研修計画策定に向けた見直しについて

～学校を取り巻く課題に対応する教職員研修へ～

参考

教員等育成指標に対応した研修（イメージ）

		第1期 基礎形成期	第2期 能力伸長期	第3期 能力充実期	校長 教頭
16 専 門 研 修	基本研修	学び続ける教員 指導力向上のため自ら主体的に学ぶ研修へ <small>更なる探究のため、専門研修を活用</small>			
	学習指導	ICT活用指導力の向上 ICT活用スキルの向上・教科指導力の向上 【新規】教科教育専門監育成研修 [教科リーダー、授業力向上アドバイザーの育成] 【新規】ICTを活用して資質・能力の育成を図る単元デザイン講座 [ICTの効果的活用] 【新規】1人1台端末活用講座 [授業等における1人1台端末の効果的な活用] 【新規】ICTを活用した授業づくりリーダー育成講座 [ICT活用推進リーダーの育成] 【新規】教科別ICT活用講座 [ICTを活用した授業展開スキルの向上] 【新規】タブレット端末活用研修 [校内におけるICT活用の推進] 【新規】タブレット端末管理システム活用研修 [ICT活用のための管理者育成]			多忙化解消の取組 【廃止】ミドルリ ーダー入門講座 【廃止】ミドルリ ーダー養成講座
	生徒指導	発達障害児童生徒の増加 特別支援教育への対応 【新規】障害に応じたICT活用研修 [障害に応じた授業づくりに係る資質能力の向上] 【拡大】新任特別支援学級担任教員研修 [現場ニーズ増加への対応] 【拡大】通級指導担当研修 [現場ニーズ増加への対応]			基本研修・専門 研修に組み込み
	学校運営	校務処理業務の効率化 校務処理の統一化・情報化 【新規】統合型校務支援システム導入に係る研修 [校務支援システムの習得]			

Society5.0 を生きる子どもたちへ

G I G A スクール構想実現に向けた研修の実施

～多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを持続的に実現するために～

新潟県教育支援システム (Tea Room) の役割

- ・教育に関する情報の提供・共有・交換を通じた、若手を中心とする教員の資質・能力向上の支援
- ・デジタルデータの共有による業務改善
- ・資料配信・回収機能による、オンラインでの法定研修等の支援

URL

<https://www.niigataeduc-support.jp/app/>



⑧ 検索バーでは
ありません！



インターネットのアドレスバーに入力する

スマホでも利用できます

QRコードを読み込む

初期認証

初期認証ユーザー名 ****
初期認証パスワード ****

資格情報を記憶する


初期認証(簡易版)

個人認証 ログイン

各所属をとおして「個人認証
ログインID」と「個人認証パス
ワード」が付与されている方は、
新規会員登録は不要です。

個人認証ログインIDと
個人認証パスワードを入力

「個人認証ログインID」と「個人
認証パスワード」が付与され
ていない方は、新規会員登録
が必要です。「新規会員登録」
から申請を行ってください。

Tea Room 
Tea Roomは、教員同士が
気軽に集える場を提供するサービスです。

ログインIDとパスワードがない方
Tea Roomのご利用には会員登録が必要です。

新規会員登録

※学校でログインIDとパスワードを配布されてい
ない方で、Tea Roomの利用をご希望される方は会員登録
をお願いします。

学校でログインIDとパスワードを配布さ
れた方

ログインID 入力してください

パスワード 入力してください

ログインID、パスワードを記憶する
ID・パスワードを忘れた方はこちら

ログイン

ホーム

- ・研修等で知り合っ
た先生を探すこと
ができます。
- ・メッセージを送受
信できます。
- ・匿名投稿、投稿の
公開範囲設定など
ができます。

コミュニティ

- ・学校の枠を越えて、
県内の教員とつな
がるきっかけの場を
提供します。
- ・日々の業務や日頃
抱えている課題や
悩みについて、相談
することもできます。

教材・資料を探す

- ・教科、学年等の条件を
指定して検索できます。
- ・他の先生が投稿した資
料をダウンロードでき
ます。
- ・自分が作成した資料
を投稿できます。

通知等を探す

- ・新潟県教育庁か
らの通知やたよりが
確認できます。
- ・キーワード検索で
過去の通知を確認
することができます。

相談窓口

県立教育センター 学力向上推進チーム
E-mail : ngt-education@pref.niigata.lg.jp

TEL : 025-263-9024
受付時間 : 9時～12時
13時～17時



体系	指標	分類	番号	講座名	対象	予定人数	教員の校種別内訳					その他	日数	研修形態				実施主体					備考	内容頁			
							幼	小	中	高	特			修	習	指	割	希	セ	総	義	高			保	生	
専門 2 職務	ミドル リーダー	中央研修	148	幼児教育指導者研修	指導主事	1						1	4												教職員支援機構	38	
		派遣研修	149	上越教育大学大学院派遣	小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭	12			12				2年														38
			150	上越教育大学教職大学院派遣	小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭	18			小中特17、高1				1・2年														38
			151	新潟大学教職大学院派遣	小・中・高・特別支援学校教諭	4							2年														38
			152	高等学校教員内地留学	高等学校教諭	1				1			6月														38

実践力向上研修、指導力ステップアップ研修

その他	153	実践力向上研修		-								135													38
	154	指導力ステップアップ研修		未定								200													38

(2) 研修の目的・内容・方法等一覧表

番号	講座名	目的	内容	方法	期日
1	幼稚園等新規採用教員研修	幼稚園教育のスタートにあたり、聴講、演習、協議、参観等とおして、職務の遂行に必要な事項の習得とともに、幼稚園教員としての使命感を養い、幅広い知見の習得を図る。	教育センター等における研修 基礎研修(2日) 幼稚園教員として求められるもの 社会人としての接遇 新規採用教員に望むこと 人権教育、同和教育 コミュニケーションの基礎 新規採用教員研修で学んだこと 幼児とのかかわりを考える～映像の視聴を通して～ 保育技能基礎研修(2日) 幼児の造形活動 幼児が生き生きと表現するには 子どもと楽しむ絵本の世界 特別支援教育 幼児の健康と安全 宿泊研修(2日) 保育計画の作成 グループ活動、共同制作活動 保育者としての4か月を振り返って 保育参観研修(2日) 保育参観 研究協議 学校参観研修(1日) 授業参観 保幼・小接続の取組 幼小の円滑な接続を考える 新採用研修を修了するにあたり	全体指導 講義 演習 体験発表 グループ協議 実技・実習 実技・実習 講義 講義・演習 実技・実習 グループ協議 参観 協議 参観 講義 グループ協議 全体指導	4月1日～3月31日 1 研修指導員を中心とした指導及び助言による研修(勤務園における研修、1日5時間を標準とし、年間10日間実施) 2 教育センター等における研修(勤務園を離れて行う研修9日)
2・3	初任者研修(小学校) 初任者研修(中学校)	本県における学校教育の現状と課題について理解を深めるとともに、教員としての実践的指導力と使命感を養い、幅広い知見の習得を図る。	教育センター等における研修 初任者研修ガイダンス(1日) 教員の心構え 社会人としての在り方、礼節 教員の服務・勤務について 初任者研修について 初任者研修を終えて 「公開授業研修」の班編成と準備 学習指導研修(3日) 授業研修協力校参観(2回)、特別支援学校参観(1回) 教育方法研修(1日) 学習指導改善の視点 学級経営の視点について 道徳教育に関する研修 教科別課題研修 生徒指導研修(4日):3日目のみ勤務校受講型 (TeaRoom, YouTube) 生徒指導の今日的課題、生徒指導の原理と方法 人権教育、同和教育 安全教育と体力向上 特別な支援を必要とする子供の生徒指導 メンタルヘルス 児童生徒理解の方法と現状 いじめ・不登校問題への対応 ロールプレイング、傾聴訓練等 体験研修(1日) ボランティア体験活動 集団活動研修(1日):勤務校受講型(TeaRoom, YouTube) レクリエーション指導 レクリエーションの意義	講話 講義 オリエンテーション 体験発表 班編制、準備 講話、講義、授業参観、協議 講義 講義・演習 講義・実践発表 グループ協議 講話 講義 講義 講義 講義 協議 協議 演習 体験活動 講義・演習 講義	4月1日～3月31日 1 指導教員を中心とした指導及び助言による研修(勤務校における研修年間120時間以上) 2 教育センター等における研修(勤務校を離れて行う研修9日)

番号	講座名	目的	内容	方法	期日
6	新採用養護教諭研修	学校保健に関する専門的知識、健康相談、生徒指導上の養護教諭の役割等について、聴講、演習、協議をとおして研修を深め、実践力と使命感を養う。	教育センター等における研修 新採用研修ガイダンス(1日) 社会人としての在り方、礼節 教員の服務・勤務について 教員の心構え 初任者研修を終えて 学校保健活動の進め方 授業研修協力校研修(2日) 授業研修協力校での研修 特別支援学校参観(1日) 授業研修協力校での研修 専門研修(2日) 養護教諭の職務 学校における危機管理 学校環境衛生 学校歯科保健の役割 学校における救急法の理論 学校における救急処置 健康相談研修(3日) 児童生徒の心身の健康 自校の健康相談の実際 教員のメンタルヘルス 人権教育、同和教育 健康相談における養護教諭の役割 集団活動研修(1日) レクリエーション指導 レクリエーションの意義	講話 講義 講話、体験発表 協議 参観・講義 講話、授業参観、協議 講義 講義 講義 講義 演習 講義 演習・協議 講義 演習 講義・演習 講義	4月1日～3月31日 1 指導教員を中心とした指導及び助言による研修(勤務校における研修年間17日) 2 教育センター等における研修(勤務校を離れて行う研修10日)
7	新採用栄養教諭研修	食育、給食管理及び生徒指導上の栄養教諭の役割等について、聴講、演習、協議をとおして研修を深め、実践力と使命感を養う。	教育センター等における研修 専門研修(3日) R2年度任用替採用栄養教諭も対象 学校給食を巡る諸課題について 学校給食の目的・目標 メンタルヘルスについて 教育課程の編成・実施と食育 学校給食実施基準について 学校給食衛生管理基準について 栄養教諭としての1年を振り返って 学校訪問研修 衛生管理の実際と諸帳簿の作成 給食の時間における食育・模擬授業 各教科における食育 集団活動研修(1日) レクリエーション指導 レクリエーションの意義 校種別情報交換 食育研究会(4日) R2年度任用替採用栄養教諭も対象 給食時間における食育についての実践 各学校における食育の推進上の課題 栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育 食育推進上の課題 人権教育、同和教育について 教育相談について 食育資料の活用 課題解決のためのグループ協議・演習 授業づくりを楽しもう 情報モラルと著作権について 授業グループによる授業プランの検討 教科や特別活動における食に関する指導 各学校の授業実践について 給食管理・食育研修協力校研修(4日) 研修協力校における研修	講義 講義 講義 講義 講義 発表 発表 訪問 講義・演習 講義 実技演習 講義 情報交換 発表 協議 講義 講義 講義 講義 協議・演習 講義 演習 演習 発表・協議	4月1日～3月31日 1 指導教員を中心とした指導及び助言による研修(勤務校における研修年間15日) 2 教育センター等における研修(勤務校を離れて行う研修12日)
8	教職2年次研修(小・中・特)	教職経験2年目教諭に対し、学習指導、学級経営に関する研修を実施することにより、学級担任としての資質向上を図る。教員としての実践的指導力と使命感を養い、幅広い知見の習得を図る。	教育方法研修(1日) 授業におけるICTの活用(小中特) 授業における新聞の活用(小中) 総合的な学習の時間の指導(小中) (小学校)発達段階に応じた学習指導の実際 (中学校)心を育てる道徳教育 道徳科の授業づくり (特別支援学校)特別支援学級、 通級指導教室の教育課程、総合的な学習の時間の指導、 自立活動の指導、自立活動について 学級経営研修(2日) 研修1日目：勤務校受講型(TeaRoom、YouTube) ・学級経営の現状と課題 ・学級経営の基本的な考え方 研修2日目：分散会場型 ・学級経営上の諸問題の解決に向けて ・学級経営上の諸問題の解決に向けて	講義・実践発表 講義・実践発表 講義・演習 実践発表・演習 講義・実践発表・演習 講義・演習・実践発表・協議 演習 講義 講義 事例演習	教育方法研修 8月3日 学級経営研修 第1日目 6月2日 第2日目 12月1日 (上越、下越) 12月3日(中越) 12月8日 (中越、佐渡)

番号	講座名	目的	内容	方法	期日
9	教職2年次研修(高等学校)	教職経験2年目教諭に対し、学級経営に関する研修を実施することにより、学級担任としての資質・能力の向上を図り、併せて教科指導力の充実にを図る。	研修1日目 新学習指導要領の趣旨の実現を支える学級経営力 学級経営における特別な配慮を要する児童生徒への対応 教科の指導力向上に関する研修(課題発表と協議) 研修2日目 学級経営における課題の解決 学級経営と生徒指導 教科の指導力向上に関する研修(課題発表と協議)	講義 講義 発表・協議・演習 講義・演習 講義・演習 発表・協議	5月7日 10月19日
10	教職2年次研修(養護教諭)	教職経験2年目養護教諭に対し、保健室経営に関する実務研修を実施することにより、養護教諭としての資質・能力の向上を図る。	研修1日目 校内体制で行う保健教育 保健室経営の進め方 保健教育の授業づくり 研修2日目 学習指導案検討 校内救急処置体制 学校体制で行う健康相談	実践発表 講義 協議	6月18日 9月8日
11	教職6年次研修(幼稚園)	幼児一人一人の発達課題に即した保育を行うために、カウンセリングマインドを生かした専門技術について、聴講、演習、実践報告と協議等をとおして習得し、指導力向上を図る。	研修1日目 新潟県の幼稚園教育の現状と課題 カウンセリングマインドを活かした保育 幼児理解のための方策 研修2日目 カウンセリングマインドを活かした保育 人権教育、同和教育 幼稚園教諭に期待すること～幼児理解の視点から～	講義 講義 協議 発表 講義 講義	6月4日 11月19日
12	教職6年次研修(小・中・特)	本県の学校教育の課題や生徒指導上の諸問題について理解を深め、それに基づいた自己研修計画の作成、校内での実践、成果の発表と意見交換をとおして、実践的な指導力を高める。	地区別研修1日目:勤務校受講型(TeaRoom, YouTube) 本県学校教育の現状と課題 児童生徒理解 教科指導(授業中)における生徒指導の視点 望ましい人間関係づくりのためのエクササイズ 自主研修計画書の構想 地区別研修2日目 校内における特別支援教育の推進 いじめ・不登校の現状と課題 人権教育、同和教育の現状と課題 レポート発表・質疑	講義 講義・演習 演習 講義 講義 講義 協議	1班(上越・佐渡) 6月8日 11月12日 2班(中越) 6月14日 11月8日 3班(下越) 6月11日 11月10日
13	教職6年次研修(高等学校)	本県高等学校教育の現状と課題を踏まえ、生徒指導における実践的指導力の向上を図るとともに、人権教育、同和教育、特別支援教育についての理解を深める。また、教科指導においても、生徒理解に基づく個に応じた指導・支援を実現する実践的指導力の向上を図る。	研修1日目:勤務校受講型(GoogleMeet, YouTube) 高等学校教育の現状と課題 生徒指導の現状と課題 生徒理解と信頼関係の構築 生徒の学びを中心とする授業 研修2日目 高等学校における特別支援教育の在り方 人権教育、同和教育の現状と課題 生徒理解に基づくキャリア教育 授業改善と研究授業の振り返り	講話 講義・演習 発表・協議 講義 講話・実践発表 講義・演習 発表・協議	6月22日 11月16日
14	教職6年次研修(養護教諭)	本県の健康相談上の課題や特別支援教育について理解し、それに基づいた自己研修計画の作成、校内での実践、成果の発表と意見交換をとおして、実践的な指導力を高める。	研修1日目 本県の学校教育の現状と健康相談の課題 校内研修の進め方とまとめ方 校内研修の進め方 校内研修テーマの設定と研修の進め方 研修2日目 校内研修の成果の発表、質疑 養護教諭が行う実践研究 養護教諭が行う実践研究の進め方	講義 講義 実践発表 協議・演習 発表 実践発表 講義	5月25日 12月2日
15	教職6年次研修(栄養教諭)	本県における学校教育の課題や食育、給食管理について講義・演習をとおして理解を深め、実践的な指導力を高める。	専門研修(2日) 学校の今日的課題への対応と勤務・勤務学校における食育推進の現状と課題 衛生管理・栄養管理の現状と課題 食物アレルギー対応の現状と課題 食育授業のレベルアップを図るために 食育研修会(4日) 給食時間における食育についての実践 食育推進上の課題 栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育 各学校における食育の推進上の課題 課題解決のためのグループ協議・演習 人権教育、同和教育について 教育相談について 食育資料の活用 授業づくりを楽しもう 情報モラルと著作権について 各教科等や特別活動における食に関する指導 授業グループによる授業プランの検討 各学校の授業実践について	講義 講義・演習 講義・演習 発表・協議 講義・演習 発表 講義 講義 協議 講義 講義 演習 演習 講義 発表・協議	専門研修 8月25日・30日 食育研修会 5月10日・7月26日 1月12日・2月4日
16	中堅教諭等資質向上研修(幼稚園)	中堅教員としての役割を果たすため、個々の能力、適性等に応じ、得意分野・個性の伸長を図るとともに、本県の教育課題の理解と園運営に参画する資質・能力の向上を図る。また、社会体験研修をとおして社会的視野を広げるとともに、特別支援教育についての理解を深める。	園外研修 全体研修(2日) 幼稚園教育の現状と課題 幼稚園教育における中堅教員の役割 特別支援教育について 中堅教諭等資質向上研修で学んだこと 人権教育、同和教育について 実践発表(コース別研修) 社会体験研修(1日) 児童発達支援センターにおける療育 保育体験 コース別研修(1日) 教育課程・学校評価コース 幼児理解、幼児の指導コース 子育て支援・預かり保育コース 特別支援教育コース パワーポイントを使った資料の作成 情報モラルと著作権 保育専門研修(1日) 幼児の健康管理 保幼小接続の取組 実践発表(保育に関する研修)	講義・演習 講義・演習 講義・演習 体験発表 講義 実践発表 講義 参観・体験 演習・協議 演習・協議 講義・演習 講義 講義 実践発表	共通研修(4日) ・全体研修1 5月12日 ・全体研修2 12月22日 ・社会体験研修 6～7月 ・保育専門研修 11月5日 ・コース別研修 (1日)8月4日 <園内研修> ・保育に関する研修 (4日) ・課題研究に関する 研修(3日)

番号	講座名	目的	内容	方法	期日
17	中堅教諭等資質向上研修 (小・中・特)	個々の能力や適性等に応じ、教員としての専門性の向上を図るとともに、校内において中堅教員としての役割を果たすため、本県の実践課題の理解と学校運営に参画する資質・能力及び教科指導における授業力の向上を図る。また、いじめ・不登校への対応などを含めた生徒理解・生徒指導についての専門的知識と技能を身に付ける。	校外研修 【共通研修(5.5日)】 全体研修(1.5日):分散会場型 全体研修1(1日) 中堅教諭等資質向上研修の意義と受講の心構え 新潟県教育の現状と課題 いじめ・不登校の現状と課題 人権教育、同和教育の取組 学校運営に参画する中堅教員の在り方 全体ガイダンス コース別研修の進め方 全体研修2(0.5日) 学校の管理運営と勤務・勤務 学校事故と責任 中堅教諭の今後に期待すること 学習指導研修(4日):分散会場型(YouTube) 小・中・特・高連携を軸にした授業力向上 学習指導研修ガイダンス 学習指導課題 研究授業参観 【コース別研修(2.5日)】:2日目のみ勤務校受講型(Zoom) 学習指導、生徒指導、学年・学級経営、特別支援教育、教育課程、キャリア教育の6コース	指導 講義 講義・演習 講義 講義・演習 講義・演習 講義 発表・協議 協議 実践発表	全体研修1 5月10日 全体研修2 12月27日 後半 学習指導研修1 8月17日 学習指導研修2 9月～12月中の3日 コース別研修 ・1日目 7月26日 ・2日目 8月6日 ・3日目 12月27日 前半 <校内研修> ・教科指導に関する研修(10日) ・課題研究に関する研修(5日)
18	中堅教諭等資質向上研修 (高等学校)	個々の能力や適性等に応じ、教員としての専門性の向上を図るとともに、校内において中堅教員としての役割を果たすため、本県の実践課題の理解と学校運営に参画する資質・能力及び教科指導における授業力の向上を図る。また、いじめ・不登校への対応などを含めた生徒理解・生徒指導についての専門的知識と技能を身に付ける。	校外研修 【共通研修(5.5日)】 全体研修(1.5日) 全体研修1(1日) 本県高等学校教育の現状と中堅教員に望むこと 学校の管理運営 学校組織マネジメント 全体研修2(0.5日) 人権教育、同和教育の現状と課題 学習指導要領解説 学習指導研修(4日):分散会場型(YouTube) 小・中・特・高連携を軸にした授業力向上 学習指導研修ガイダンス 学習指導課題 研究授業参観 【コース別研修(2.5日)】 進路指導、生徒指導、学年・学級経営の3コース	講話 講義、講義・演習 講義、講義 講義・演習 発表・協議、授業参観 講義、実践発表、課題研究	全体研修1 4月20日 全体研修2 12月21日 午前 学習指導研修1 8月17日 学習指導研修2 9月～12月中の3日 コース別研修 ・1日目 6月25日 ・2日目 7月21日 ・3日目 12月21日 午後 <校内研修> ・教科指導に関する研修(10日) ・課題研究に関する研修(5日)
19	中堅教諭等資質向上研修 (養護教諭)	学校教育の課題や学校の管理運営、教育実践上の諸問題について理解を深めるとともに、養護教諭としての専門的知識、指導力を高め、中堅養護教諭としての資質の向上と職務の充実を図る。	校外研修 全体研修(1.5日) 全体研修1(1日) 中堅教諭等資質向上研修の意義と受講の心構え 新潟県教育の現状と課題 いじめ・不登校の現状と課題 人権教育、同和教育の取組 校内研修の進め方 中堅教諭等資質向上研修(養護教諭)について 健康教育をマネジメントする養護教諭 全体研修2(0.5日) 学校の管理運営と勤務・勤務 学校事故と責任 中堅教諭の今後に期待すること 専門研修(3日) 学校保健マネジメント 実践研究の評価とまとめ 課題別研修について 最新医療情報～感染症～ 子どもの成長とスポーツ傷害 保健管理と学校環境衛生 科学的根拠に基づいた口腔保健の考え方・進め方 授業改善の視点 課題別研修中間報告 健康相談研修(1日) 児童生徒の心の健康 学校体制で行う教育相談 法令からみた養護教諭の職務 関係機関研修(1日) 関係機関との行動連携の在り方 児童自立支援施設(新潟学園) 中央福祉相談センター コース別研修(1.5日) 養護教諭が行う実践研究の進め方 校内研修計画の立案 課題別研修実践発表会	指導 講義 講義、実践発表 講義 講義・演習、講義・演習 指導 講義・演習、講義 グループ協議、講義 講義、講義 講義 グループ協議 講義、講義・演習 講義 講義 講義 発表・演習 協議・演習 実践発表	全体研修1 5月10日 全体研修2 12月27日 後半 専門研修1 7月29日 専門研修2 7月30日 専門研修3 10月1日 健康相談研修 8月24日 関係機関研修 8月25日 コース別研修 5月19日 12月27日 前半 <校内研修> ・課題別研修(15日)

番号	講座名	目的	内容	方法	期日
20	中堅教諭等資質向上研修(栄養教諭)	中堅栄養教諭として指導的役割を担うことができるように、高度な専門的知識や技能を習得し、指導力を向上させるとともに、個々の能力・適性に応じ得意分野や個性を伸ばし、食育を推進する企画力、実行力、調整力を養成する。	校外研修 全体研修(1日) 全体研修1(0.5日) 中堅教諭等資質向上研修の意義と受講の心構え 新潟県教育の現状と課題 いじめ・不登校の現状と課題 人権教育、同和教育の取組 全体研修2(0.5日) 学校の管理運営と勤務・勤務 学校事故と責任 中堅教諭の今後に期待すること 専門研修(3日) 学校の今日的教育課題への対応と勤務・勤務 学校における食育推進の現状と課題 衛生管理・栄養管理の現状と課題 食物アレルギー対応の現状と課題 食育授業のレベルアップを図るために 食育授業協力校における研修(給食試食、授業参観、研究協議) 食育研修会(4日) 給食時間における食育についての実践 食育推進上の課題 栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育 情報モラルと著作権について 人権教育、同和教育について 教育相談について 食育資料の活用 授業づくりを楽しもう 各学校における食育の推進上の課題 課題解決のためのグループ協議・演習 授業グループによる授業プラン検討 各教科等や特別活動における食に関する指導 各学校の授業実践について	指導 講義 講義・演習 指導 講義 講義・演習 発表・演習 講義・演習 授業参観、研究協議 発表 講義 講義 協議 演習 発表・協議	全体研修1 5月10日(0.5) 全体研修2 12月27日(0.5) 専門研修 8月25日・30日 食育研修会 5月10日・7月26日 1月12日・2月4日 <校内研修> ・基本研修(教科指導、特別活動、生徒指導)5日
21	教科指導力向上講座	学習指導要領の趣旨を踏まえ、ねらいに迫るための指導計画の作成や学習指導の工夫・改善をととして授業力向上を図る。	【集合型】 授業改善における現状と課題 教科指導の課題 学習指導要領の趣旨を実現する教科指導(含むICT活用) 教材研究&授業分析 単元指導の構想 学習指導案の発表・質疑	共通講義 協議 協議 協議 協議 協議	上越・中越 6月4日 6月28日 8月30日 9月21日 中越・下越 6月7日 6月30日 8月31日 9月22日
22	教科リーダー育成講座(小・中・特)	学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりについての講義や校種・教科別グループ協議、勤務校での研究をととして教科の目標を具現化する授業研究に取り組み、教科指導力の向上を図り、地域・校種での教科指導のリーダーを育成する。	(研修1日目・2日目)【集合型】 学習指導要領の趣旨を実現する教科指導 研究テーマの構想 研究授業の学習指導案についての発表・協議 (研修3日目・4日目)【分散会場型(公開授業実施校)】 研究授業・研究協議(全2回) (研修5日目)【勤務校受講型(Zoom)】 実践成果の発表・協議	講義 協議・演習 発表・協議 授業公開・協議 発表・協議	6月1日 8月2日 9月～11月のうち2日 12月7日
23	教科リーダー養成講座(高等学校)	学習指導要領の趣旨と、本県高等学校における各教科教育の実態を踏まえ、各教科における喫緊の課題を明確化し、実際の授業をととして解決に取り組むことにより、各教科等の中核教員となり得る実践的授業力を育成する。	研修1日目【勤務校受講型(zoom)】 授業改善の視点 各教科の課題の明確化 研修2日目【集合型】 課題解決への方法 単元の指導計画、学習指導案の検討、模擬授業等 研修3日目【集合型】 実践発表・協議 発表者による実践発表	講義・演習 講義・演習 講義 協議・演習 発表・協議 発表・協議	1日目 6月18日 2日目 8月30日 3日目 12月17日
24	ICTを活用して資質・能力の育成を図る単元デザイン講座	主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善に向けて、ICTの効果的活用を視野に入れた単元構成をつくり、実践するとともに、全校的な授業改善の推進体制をつくることのできる中核的教員を育成する。	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて勤務校受講型(NITS動画) ICTを効果的に活用した単元デザイン構想 勤務校受講型(Tea Room,Share Point) 深い学びを実現する授業デザイン(集合型) 自校における取組について(集合型) 資質・能力の育成に向けた授業改善(集合型)	講義 演習 講義 協議 演習・協議	6月29日 11月2日
25	学びの質向上研修会(教科部会)	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の研究をととして、教科指導力を育成するとともに、生徒の進路実現を図る授業実践力の向上に資する。	・講義・講演 ・実践事例研究 ・指導案作成、協議等	講義 実践発表 グループ協議	9月～12月
26	教科研究員研修会(高)	新潟県高等学校教育水準の向上を図るため、学習指導要領における各教科等の指導上の問題点について研究し、本県高等学校教育の一層の充実を目指す。	・研究目的と年間計画 ・学習指導要領の研究	講義 演習	4月～10月 (10月までに各教科3回)
27	教科別ICT活用研修(高等学校)	各教科におけるICT機器の活用方法及びICT教材の作成について理解を深め、自校でのICTを活用した授業展開スキルの向上を図る。	研修1日目【勤務校受講型(Zoom, YouTube)】 勤務校別全体研修 教科におけるICT活用 自校におけるICT活用の推進に向けた課題と改善策について 授業実践 研修2日目【勤務校受講型(Zoom)】 教科別研修 各教科におけるICTを活用した授業実践について	実践発表 協議 授業実践 発表・協議	1日目 6月～8月 2日目 国語(1班)11月25日 地理歴史・公民(2班) 11月30日 数学(3班)12月6日 理科(4班)12月15日 外国語(5班) 12月20日
28	教科教育専門監成研修	地域の教科リーダー、授業力向上のアドバイザーとして他の職員を指導する力を育成する。 2年間の研修後、教科教育専門監として、勤務地域及び全県的な学力向上に寄与するための実践力を育成する。	・授業力及び教科指導力を育成する ・指導者として必要な力を育成する ・教科教育に関する知見を広げる	・授業力向上研修会の開催(授業公開、研修) ・義務教育課主催研修会に参加 ・研修会及び研修視察に参加	4月～3月(2年間)
29	各教科等研究協議会	高等学校学習指導要領についての研究協議及び研究発表を行うことで、各校における教育課程の編成・実施に資するとともに、高等学校教育の改善充実を図る。	・各学校における教育課程実施上の具体的な諸問題について研究協議及び研究発表	講義・実践発表・研究協議	11月

番号	講座名	目的	内容	方法	期日
30	校長研修会	新学習指導要領が円滑に実施されるようにするため、高等学校新学習指導要領に関する趣旨・内容及び生徒の学習評価の在り方について理解を深めるとともに、各校における新学習指導要領が目指す理念の実現方策について研究協議を行う。	・新学習指導要領に関する研修 ・各校における取組をもとに協議	講演・研究協議	9月
31	副校長・教頭研修会	新学習指導要領について理解を深めるとともに、令和4年度新潟県高等学校入学者選抜事務について周知徹底を図り、厳正な入学者選抜に資する。	・新学習指導要領に関する研修 ・高等学校入学者選抜に関する研修	講義・説明・グループ協議	11月
32	成年年齢引き下げへの対応に関する研修会	政治的教養及び消費者教育に係る指導方法等に関する研修会を実施することとおして、指導力の向上を図る。	・政治的教養に関する講義 ・公職選挙法等の関係法令に関する講義及び協議 ・消費者教育に関する講義及び協議	講演・講義・協議	6月
33	小学校理科基礎講座	基礎的・基本的な観察・実験の実習を行い、観察・実験の技能及び理科指導力の向上を図る。	【集合型】 理科授業の在り方 基礎的・基本的な観察・実験～生物・地学分野～ 教員も児童も楽しめる、観察や実験を生かした理科授業 基礎的・基本的な観察・実験～物理・化学分野～	講義 実習 協議 実習	1日目 6月4日 2日目 11月19日
34	理科授業力向上講座	小・中学校教員の理科授業力の向上を図り、各学校の研修及び地域での理科教育に中核的な役割を果たす教員を育成する。	【集合型】 小・中合同授業研修 指導方法改善に関する協議 主体的・対話的で深い学びを図る指導	授業参観 協議 指導・助言	9月～12月
35	先端科学技術活用講座	科学技術系の上級学校に進学する生徒を増加させ次代を担う人材を育成するため、高等学校教員に対して、先端的な科学技術に関する観察・実験の実習、授業等での活用方法についての協議を、大学・研究所・企業等と連携して実施し、指導力の向上を図る。	【集合型】 先端科学技術に関する講義 先端科学技術に関する実習 教材化と学習指導への活用	講義 実習 協議・演習	コース8月23日 コース6月15日 コース11月29日 コース11月1日 コース9月17日
36	体育・保健体育指導力向上研修	発達段階のまとまりや校種の接続を踏まえ、子どもへの体力の向上に資する指導方法について、指導者として必要な知識や技術の習得を図る。本研修内容を踏まえた講習会の講師として指導助言を行うことができる資質や能力の向上を図る。	小学校 ボール運動系、表現運動系 中学校・高等学校 器械運動、陸上競技	講演、実技、研究協議	5月19日～5月21日 愛知県
37	体力向上指導者養成研修伝達講習会	発達段階のまとまりや校種の接続を踏まえ、子どもへの体力の向上に資する指導方法について必要な知識や技術を習得し、体育指導者としての資質能力の向上を図る。	小学校・中学校・高等学校 ボール運動、表現運動、器械運動、陸上競技 オリパラ教育	講義、実技	7月26～7月30日
38	新潟県柔道安全指導研修会	中学校武道必修化を踏まえ、今後の柔道指導の充実を図ることを目的とし、保健体育科教員及び外部指導者(柔道)の技術及び安全における専門的な知識の習得を図る。	・事故防止のポイントについての講義 ・柔道指導のポイントについての講義 ・実技研修	講義、実技	10月
39	保健教育実践講座	保健教育を推進するため、授業実践における自己の課題を明確にし、学習指導要領の趣旨を踏まえて単元構成や学習指導の工夫・改善に取り組むことにより、授業力向上を図る。	<集合型研修> 新潟県保健教育の現状と課題 保健教育と効果的に進める授業実践 学習指導要領を踏まえた保健の授業づくり 保健教育における主体的・対話的で深い学び 学習指導案検討	講義 実践発表 講義・演習 講義・演習 協議	'6月25日 9月21日
40	健康教育指導者養成研修	各学校における健康教育に関し、必要な知識等を修得させるとともに、各地域において本研修の内容を踏まえた研修講師や各学校への指導・助言等を行う指導者等の育成や資質向上を図り、もって健康教育の充実を目指す。	健康教育の現代的課題への対応 ・保健教育の在り方 ・学校保健マネジメント ・児童生徒のメンタルヘルスへの理解と対応	講義、演習	11月2日 11月4日 11月5日
41	中学校英語科主任研修	生徒の英語力の向上を目指し、チーム英語科として組織的に新学習指導要領の趣旨に沿った学習が展開できるよう校内の指導体制の整備と指導力の向上を図る。	1日目・文部科学省教科調査官による講義 ・県の課題の共通理解、Web配信集計システム等の活用 ・協議(校内推進体制の見直し) 2日目・授業公開、研究協議、校内指導体制の整備と確認	講義 協議 授業参観	1日目 5月21日 2日目 10月～11月
42	小学校外国語実践講座	小学校における外国語指導の課題を踏まえ、講義、グループ協議、研修授業等をおとして外国語教育の一層の推進と指導者の育成を図る。	研修1日目【集合型】 学習指導要領の趣旨を実現する教科指導 教師の英語力の向上 各校の課題解決に向けて (研修2日目【集合型(公開授業実施校)】 公開授業参観、協議	講義 演習 協議 授業参観・協議	6月9日 9月～11月
43	英語4技能5領域が育つ深い学び実現講座	指導と評価の在り方、CAN-DOリストの捉え方及び活用方法について理解を深め、授業改善に向けた取組を行うことにより、4技能5領域にわたるコミュニケーション能力、論理的思考力及び批判的思考力が育つ学びを実現できる中学校・高等学校の教員を育成する。	研修1日目【集合型】 CAN-DOリストの活用に向けて 深い学びの実現に向けて 授業改善の計画 研修2日目【勤務校受講型(Zoom)】 4技能5領域にわたるコミュニケーション能力の育成について 研修3日目【集合型】 深い学びの実現に向けた取組 連携強化に向けて	講義 講義 協議 協議	1日目 5月31日 2日目 9月7日 9月8日 3日目 11月17日
44	英語教員指導力向上研修会	生徒の英語発信力を育成する実践的な指導力向上を図る。	・「話すこと」「書くこと」のパフォーマンステストの効果的な実施に関する研修 ・英語4技能5領域を育成する指導と評価の一体化に関する研修	研究授業 外部講師による講演 協議	会場校が指定する 2回
45	英語ディベート・ディスカッション指導実践講座	新学習指導要領「論議・表現」におけるディベート、ディスカッションの指導力向上を図る。	・指導力向上のための講義、演習 ・英語外部試験(スピーキング、ライティング)の受検	講義 演習	7月～8月に1回
46	小学校英語専科教員情報交換会	小学校英語専科教員としての業務等について情報交換を行い、勤務校における業務の効率化と指導の充実を図る。	・小学校外国語活動及び外国語科の指導方法と評価 ・業務に関する情報交換	・実践発表 ・講義	4月 上越・中越・下越 1学期・2学期・3学期 に1回ずつ 6月16日
47	小学校プログラミング教育推進講座	小学校におけるプログラミング教育の基本的な考え方について講義や演習をおとして理解を深め、各学校で推進できる教員を育成する。	【集合型】 プログラミング教育で育む資質・能力 プログラミング教育の実際 プログラミング的思考の体験 振り返り・まとめ	講義 実践発表 講義・演習 振り返り・まとめ	
48	高等学校「情報」指導者研修会	新設共通必修科目「情報」の指導項目に関する理解を深めるとともに、「プログラミング」に関する実習を行い、生徒の情報活用能力を高める指導力を養成する。	・「情報」指導上の留意点 ・プログラミング実習	講義 実習	7月～10月に2回

番号	講座名	目的	内容	方法	期日
49	タブレット端末管理システム(MDM)運用研修会	学習用タブレット端末のOS更新やアプリケーションの導入を一括で行うために導入されるMDM(モバイル・デバイス・マネジメント)の理解を深め、端末管理スキルの習得を図る。	・MDMの仕組みについて ・MDMの運用方法について 講師 端末整備受注業者が招聘	講義・演習(教育センター会場)	4月
50	タブレット端末活用研修会	学習用タブレット端末の基本的な操作方法と代表的な活用方法を理解することにより、ICT活用指導力の向上を図る。	・iPadの基本操作について ・iPadの具体的な活用方法について 講師 端末整備受注業者が招聘	講義・演習(オンライン)	5月～7月の間
51	1人1台端末活用講座	学習活動におけるICT機器の効果的な活用について、演習を行うことにより理解を深め、ICTを活用した教科指導力の向上を図る。	・ICTを活用したオンラインでの学習活動 ・授業等における1人1台端末の活用方法	演習	5月11日(Windows) 5月19日(iPad) 5月24日(Chromebook) 5月25日(iPad)
52	ICTを活用した授業づくりリーダー養成講座	ICT機器を活用した教材作成について理解を深め、教科指導におけるICT活用に推進役となるリーダーの育成と資質の向上を図る。	・授業におけるICT活用 ・学習支援動画を活用した授業づくり ・自校でのICT活用推進について ・校内ICT研修計画の立案	講義・演習・発表	6月11日
53	豊かな心をはぐむ道徳教育講座	児童生徒に関連する重大事件が発生していることを踏まえ、善悪を判断する力や命を大切に、他人を思いやる心などの豊かな人間性の育成を目指し、道徳科の指導や評価の在り方について改善を図る。	児童生徒の心に響く道徳教育の推進 ～道徳の時間を中心に～ 道徳の授業づくりに関する課題と解決策について 道徳教育の更なる充実を目指して ～道徳科の授業づくりと評価～ 道徳の授業づくりの充実に向けて	実践発表 協議 講義 演習	9月13日
54	道徳教育推進研修	道徳の教科化の取組や、道徳教育推進教師を中心とした指導体制及び道徳教育の展開等について、必要な知識等の習得を図る。	・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育 ・豊かな体験活動の充実、いじめの防止、指導と評価 ・道徳教育を推進するリーダーとしての資質を向上	講義、課題	未定
55	道徳教育推進協議会	道徳教育や心の教育の推進などについて幅広く協議し、県内の小中高等学校における道徳教育の充実及び事業の円滑な展開に資する。	・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実 ・道徳授業の工夫・改善、指導と評価 ・校種間や家庭・地域連携による心の教育の推進	講話、協議	6月、12月
56	道徳教育パワーアップ研究協議会	道徳教育の推進について研究協議を行い、県内の小・中・義務教育・中等教育・特別支援・高等学校における道徳教育の充実に資する。	・道徳教育の充実 ・「特別の教科 道徳」 ・校種間交流	講義、演習、協議	未定
57	免許外教科担当教員研修会	中学校において免許外教科を担当する教員に対し、基本的な指導内容や効果的な指導方法について研修を行い、指導力の向上と教育活動の充実を図る。	・教科教育法 ・教科研究と指導案作成 ・教材の開発 ・教科の指導法の工夫(実技研修、指導案作成)	講義 講習 実習 授業参観、模擬授	5～6月で実施
58	外国人児童生徒の日本語指導講座	年々増加している外国人児童生徒等の生活支援や学習指導に当たる教育委員会や教員等を支援するため、文部科学省「日本語指導アドバイザー派遣事業」を活用し、受入れ体制の整備や指導力の向上を図る。	新潟県の現状と課題 ・日本語指導、支援等に関する講義 ・相談会 まとめ	講義 講演 協議	11月下旬
59	生徒指導基幹研修	生徒指導又は教育相談を担当する教員等に対し、不登校、いじめ等の問題行動、児童虐待等の生徒指導上の今日的課題について、最新の知見や全国的動向、研究成果、対応方針に関する必要な知識等を習得させる。	・生徒指導の在り方と規範意識の醸成 ・生徒指導事例研究 ・児童虐待の理解と対応 ・不登校への対応 ・いじめ問題への対応	・講義 ・演習	5月18日(火)～5月20日(木)
60	感情をコントロールする力と社会性を育てる生徒指導講座	交流をとおして豊かな感情と社会性を育て、親和的な児童・生徒集団を作る生徒指導の方法について理解を深め、学校現場で活用できる基本的な技能の習得を図る。	<集合型研修> 感情をコントロールする力の育成 親和的な集団づくり 適切な感情表現の指導	講義・演習 実践発表 講義・演習	6月16日 10月25日
61	チーム学校で進める協働的な教育相談講座	いじめ・不登校等の予防と組織的な対応を充実させるため、初動段階でのアセスメント、各専門家・校外機関との連携、ケース会議の運営等に関する専門的な知識・技能の習得と実践力の向上を図る。	<集合型研修> チーム学校で進める教育相談 面接相談における児童生徒理解 面接相談 いじめ・不登校等の未然防止と早期対応 保護者と協働関係を築く方法 SC、SSWの業務と連携 社会的養護が必要とされる児童生徒への支援と連携 効果的なケース会議の運営 児童生徒の心の健康と精神症状の理解 地域支援ネットワーク 解決志向アプローチで進める教育相談	講義 講義 面接相談 演習 講義 講義・演習 講義 講義 講義・演習 講義 発表・協議 講義・演習	5月27日 7月16日 9月28日 11月11日
62	人権教育、同和教育指導者研修会(小・中学校)	人権教育、同和教育に関する国内外の動向や、県の重要施策についての理解を深め、人権教育、同和教育指導者としての資質能力の向上を図る。	・人権教育、同和教育の推進 ・児童生徒の学習指導と生徒指導に対する取組 ・差別の実態に学ぶ ・かかわる同和教育の推進	講義 実践発表・協議 講話 協議	未定
63	人権教育、同和教育主任等研修会(小・中学校)	学校における人権教育、同和教育の一層の推進を図るため、人権教育、同和教育主任等の資質能力の向上を図る。	・人権教育、同和教育の推進上の主任の役割 ・推進上の課題と解決策の検討 ・校内研修の計画と運営	講義・演習(オンライン)	7月～8月の間
64	人権教育、同和教育現地等研修会(小・中・高等学校)	被差別地区等を視察し、被差別体験を聞くことにより、差別の実態についての認識を深め、人権教育、同和教育の指導者としての資質能力の向上を図る。	・人権教育、同和教育の現状と課題 ・被差別体験を聞く ・差別の現実に学ぶ	講義 講演 視察 グループ協議	7月～8月(義・高)
65	人権教育、同和教育連絡協議会(小・中学校)	学校における人権教育、同和教育を組織的に推進するため、児童生徒支援加配教員の資質能力の向上を図る。	・人権教育、同和教育の推進上の加配教員の役割 ・推進の方策 ・校内研修の計画	講義 講話 協議	4月下旬
66	同和教育研究会	「かかわる同和教育」の実践を全国の参加者と協議し検証するとともに、全国の様々な実践にふれ、人権教育、同和教育への認識や実践力を高め、その実践を次世代に継承する契機とする。	・人権確立をめざす教育の創造 ・児童生徒の自主的な活動と学習の保障 ・進路・学力保障 ・人権確立をめざすまちづくり	分科会 講座	11月13日～11月14日
67	人権教育、同和教育研修会(高等学校)	高等学校における人権教育、同和教育の一層の推進を図るため、研修を通じて人権教育、同和教育の理解を深める。	・人権教育、同和教育の現状と課題 ・講演「人権教育、同和教育の現状と課題」 ・情報交換	講話 講演 研究協議	11月12日
68	人権教育、同和教育担当者会議(高等学校)	高等学校における人権教育、同和教育の一層の推進を図るため、情報交換及び研究協議を通じて実践的指導力の向上を図る。	・人権教育、同和教育の現状と課題 ・講演「人権教育、同和教育の現状と課題」 ・情報交換	講話 講演 研究協議	5月25日

番号	講座名	目的	内容	方法	期日
69	人権教育、同和教育指導者研修会(高等学校)	高等学校における人権教育、同和教育の一層の推進を図るため、情報交換及び研究協議を通じて人権教育、同和教育の指導者としての識見を高める。	・人権教育、同和教育の現状と課題 ・講演「人権教育、同和教育の現状と課題」 ・情報交換	講話 講演 研究協議	9月上旬
70	新任特別支援学級担任教員研修	特別支援学級に関する法令に基づき、在籍児童生徒に合わせた教育課程を編成し、実施すること等について、「特別支援学級ガイドライン」を活用しながら理解を深めるとともに、様々な障害についての知識と障害特性に応じた指導方法について講義や演習を行い、新たに特別支援学級を担任する教員の資質能力の向上を図る。	<集合型研修> 特別支援学級の教育について 障害特性の理解と支援 課題研修の進め方について 個別の指導計画の作成と活用 特別支援学級の指導の実際 課題研修の発表及び協議	講義・演習 講義・演習 説明 講義・演習 実践発表・協議 発表・協議	第1回 1班 6月15日 2班 6月9日 3班 6月17日 4班 6月7日 第2回 1班 11月9日 2班 11月17日 3班 11月5日 4班 11月19日
71	特別支援教育コーディネーター専門研修	特別支援教育の一層の推進のため、講義及び演習並びに地域や自校の課題解決に向けた実践研修をとおして、より高い専門性を身に付けた地域の中核となるコーディネーターとしての役割を担う教員を育成する。	<1日目:集合型研修> 本県の特別支援教育の現状と課題 特別支援教育コーディネーター概論 福祉制度の理解と利用 <2日目:集合型研修> 個別の諸計画を活用するために 関係機関との連携の在り方 県立教育センターの支援業務と連携 <3日目:集合型研修> インシデント・プロセス法を用いた校内関係者会議の運営方法 特別支援教育コーディネーターの役割と支援体制づくり 特別支援教育コーディネーターとしての課題解決実践に向けて <4日目:集合型研修> 心理検査の意義と概要 WISC- の概要、K-ABC の概要 <5日目:集合型研修> 実践発表及び協議 情報交換・情報共有	講義 講義・演習 講義 講義・演習 講義・演習 講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義 講義・演習 発表・協議 協議	5月12日 6月3日 6月4日 7月14日 12月13日
72	高等学校特別支援教育コーディネーター研修	高等学校における特別支援教育推進のため、発達障害のある生徒の理解と支援、校内支援体制の工夫、関係機関との連携等、特別支援教育コーディネーターに必要な知識を得るとともに、自校課題の解決に向けた実践研修を行い、コーディネーターとしての資質能力の向上を図る。	<1日目:勤務校受講型研修(Zoom)> 特別な教育的ニーズのある生徒の理解と特別支援教育コーディネーターの業務 自校における特別支援教育推進の取組 課題研修の進め方について <2日目:集合型研修> 特別支援教育推進の課題と実践 今後の特別支援教育推進に向けて	講義 実践発表 講義・演習 発表・協議 講義・演習	5月13日 12月7日
73	適切な合理的配慮の提供の在り方に関する研修	特別支援教育のセンター的機能を担っている特別支援学校の校長・教頭に対して、適切な合理的配慮の提供の在り方についての研修を行い、理解促進を図る。	・学校における合理的配慮の考え方の実際 ・具体的な相談要請に対する検討	講義 演習	校長 9月上旬 教頭 7月上旬
74	日本語指導を必要とする帰国・外国人生徒の支援に関する研修	日本語指導を必要とする生徒に対する指導・支援のあり方、校内組織づくり、関係機関との連携について、研修を通じて教員の指導力の向上、学校支援体制の強化を図る。	・外部講師による講義 ・指導力向上のための講義、演習 ・情報交換	講義 グループ協議・情報交換	7月上旬
75	通級指導等担当研修	通級による指導の教育課程の編成、個別の指導計画の作成、指導方法等について、講義と協議をとおして理解を深め、通級指導(教室)担当教員としての専門性の向上を図る。	<集合型研修> 通級指導教室の経営 通級指導の実際 指導の実際 事例研修の進め方について 通級児等への指導 実践発表及び協議	講義 実践発表 協議 指導の実際 説明 講義 発表・協議	4月16日 (新任者のみ) 10月22日 (発達障害) 10月20日(難聴) 10月15日 (言語障害)
76	言語障害・難聴通級指導教室担当者育成研修	言語障害・難聴通級指導教室担当教員(通登録教員)に対し、担当者としての専門的事項について、講義と演習を通して研修を行い、資質能力の向上を図る。	・言語障害・難聴通級指導の理論と実際 ・通級指導教室運営上の留意点	講義・演習 講義・グループ協議	4月16日 5月12日 6月3日、4日 10月15日(言語) 10月20日(難聴)
77	特別支援教育入門講座	特別支援教育の教育課程や授業づくりの基礎、知的障害の状態に応じた実践的な指導方法についての講義、演習、実践発表、協議等をとおして、特別支援教育に関わる教諭としての専門性の向上を図る。	<1日目:集合型研修> 特別支援教育における教育課程の仕組み 自立活動の考え方 自立活動の実際 自立活動の指導支援 <2日目:集合型研修(コース別)> 日常生活動作の支援方法 新潟県の医療的ケアの現状 重度・重複障害児との係わり合いの視点 知的障害のある児童生徒の指導の在り方 知的障害のある児童生徒の指導	講義 講義 実践発表 情報交換 講義・演習 講義 講義・演習 講義 実践報告・協議	5月31日(全体) 6月22日(重度・重複障害教育コース) 10月27日(知的障害教育コース)
78	発達障害教育基礎講座	発達障害についての理解を深め、発達障害のある幼児児童生徒の理解と支援を全校園体制で推進するための資質能力の向上を図る。	<勤務校受講型研修(Zoom)> 発達障害のある子どもの理解と支援 発達障害のある幼児児童への指導・支援及び支援体制づくり 発達障害のある生徒への指導・支援及び支援体制づくり	講義 実践発表・協議 実践発表・協議	5月7日
79	発達障害に関する指導困難事例対応講座	発達障害のある幼児児童生徒の二次障害等に焦点を当て、指導困難事例を中心とした講義や実践例に基づいた情報交換及び協議をとおして、問題行動の分析・理解、具体的な指導支援の在り方、校園内の体制づくり及び他校や医療、福祉、就労等の関係機関との連携について学び、専門的な資質能力の向上を図る。	<1日目:勤務校受講型研修(Zoom)> 保護者の「障害受容」と支援者の在り方 発達障害と二次障害(保幼小段階) 発達障害と二次障害(中高段階) <2日目:集合型研修> 行動障害のある障害児・者への支援の在り方 対応困難事例への具体的な指導・支援及び支援体制づくり (幼小、中高、管理職の3コース選択制)	講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 実践発表・協議・情報交換	10月6日 11月2日
80	盲学校高等部理療科担当教員講習会	盲学校高等部理療科担当教員の資質能力の向上を図り、理療科教育の改善・充実に資する。	・理療と医学 ・理療科教育の現状と将来 ・理療経営の近代化 ・臨床検査	講義 臨床検査 実習 研究協議	7月下旬

番号	講座名	目的	内容	方法	期日
81	特別支援学校高等部・就労促進コーディネーター研修会	高等部就労促進コーディネーターの資質能力の向上を図り、進路先の拡充を図る。	・企業就労の現状と課題 ・企業へのアプローチの仕方 ・卒業生の職場定着支援に在り方	講義 演習 情報交換	11月
82	特別支援学校学校看護師医療的ケア研修会	学校看護師の資質能力の向上を図り、医療的ケアに係る知識や技能の向上を図る	・医療的ケアの現状と課題 ・医療的ケアに係る基本的な手技 ・医療的ケアの実施体制	講義 演習 情報交換	夏期休業中 冬期休業中
83	障害に応じたICT活用研修	障害に応じたICT機器やICT教材の活用方法について理解を深め、ICT機器を活用した学習指導のスキル向上を図る。	<勤務校受講型研修> ・県立特別支援学校のICT推進計画について ・ICT機器を活用した授業づくり ・ICT機器を活用した授業づくりの現状と課題 ・ICTを活用した授業実践について ・県立特別支援学校のICT機器活用の今後の展望	講義 講義 実践発表・協議 実践発表・協議 講義	1回目 9月中 2回目 1月中
84	いじめ・不登校等対応力向上研修	幼稚園・こども園から小・中学校、高等学校、特別支援学校の副校長、副園長、教頭が、いじめや不登校等の現状と課題について理解を深め、校種を超えてその対応策について話し合うことを通じ、いじめや不登校等の問題解決に向けた対応力の向上を図る。	<集合型研修> いじめの現状と課題 不登校の現状と課題 いじめ問題への対応における保護者連携 各校のいじめ未然防止・予防教育の取組 緊急時(重大事態発生時)対応の在り方	講義 講義 演習・協議 協議	1班 9月3日 2班 9月7日 3班 9月10日 4班 9月14日
85	情報モラルに係るネットトラブル対応講座	情報モラル指導の重要性について理解を深め、ネットトラブル等、情報に関する生徒指導上の問題に適切に対応するための資質能力の向上を図る。	携帯端末における生徒指導上の問題 ネット上の違法・有害情報による問題事例と犯罪 SNS教育プログラムの効果的な授業 これからの情報モラル教育について	講義 講義 実践発表・協議 講義	7月2日
86	子どものいのちと心の危機対応力向上講座	養護教諭及び教諭が、児童生徒の自殺や虐待のサインについて理解し、その対応策について話し合うことを通じ、問題解決に向けた組織的な対応力の向上を図る。	<集合型研修> 精神疾患と児童虐待 学校で行う自殺予防の取組 学校体制で行う自殺予防対策～事例検討～	講義 実践発表 講義・演習	6月29日
87	管理職対象いじめ対策研修会	組織としての適切な対応が求められるいじめ事案に対し、マネジメントを行なう立場である管理職を対象に、いじめの認知もれや重大事態発生防止等に関する理解を促し、組織的対応力の向上を図る。	・いじめ問題、事例等に関する講義 ・いじめの組織的対応についての協議・演習	・講義 ・協議・演習	5月
88	いじめ対策推進教員地区別研修	いじめ等に係る重大事案を未然に防止するため、地域ごとに少人数で研修することにより、学校のいじめ対策や生徒指導体制の改善を図る。	・いじめの問題に関する現状と課題 ・研修資料を活用した研修の実践発表 ・学校のいじめ対策等に関するグループ協議、情報交換	・講義 ・実践発表 ・グループ協議・情報交換	1月
89	いじめ見逃しゼロ・不登校対応研修	不登校、いじめ等問題行動の解消及び未然防止に向けて、生徒指導と特別活動の関連を図った取組等に関する知見を深めることで、生徒指導担当教員の指導力及び実践力の向上を図る。	・新潟県の生徒指導の現状と課題 （いじめの定義の正しい理解） ・生徒指導との関連を図った特別活動の在り方及び集団づくりの演習 ・いじめ対応総合マニュアル等の活用 ・いじめの未然防止に向けての方策	・講義 ・演習	上越地区：6月1日 中越地区：6月7日 下越地区：6月8日 佐渡地区：6月4日
90	薬物乱用防止教育指導者研修会	青少年による薬物事犯の急激な増加や低年齢化が大きな社会問題や健康問題となっている。本県の児童生徒が薬物に対する正しい認識と適切な行動がとれるよう、薬物乱用防止教育の充実を目指すため、指導者を対象とした研修会を開催する。	・薬物乱用防止教育の現状と課題 ・学校薬剤師としての実践、学校における実践 ・薬物事犯の現状 ・薬物乱用防止教室の実践プログラムの作成	講義 実践発表 講義 協議・演習	7月から9月で実施
91	いじめ問題理解基幹研修	法律及び国の基本方針への理解を深めるとともに、オンラインによる講義を通していじめに係る喫緊の課題への対応力の向上を図る。	・いじめの問題に関する現状と課題 ・いじめ定義・認知 ・いじめ問題への組織的な取組の考え方と実践 ・いじめの重大事態の調査に関するガイドライン 他	・講義	8月2日～8月31日 学習管理システムによる講義動画の配信
92	生徒指導に係る加配教員研修会	生徒指導に係る加配教員を対象に、加配教員の役割、生徒指導の現状と取組等についての情報交換等を通して、加配教員としての指導力・対応力の向上を図る。	・生徒指導の現状と課題、県の取組 ・加配教員の役割、業務の進捗状況 ・不登校やいじめ等の対応の在り方 他	・講義 ・講演 ・グループ協議・演習	全体研修：5月7日 地区別研修：7～9月
93	適応指導教室・訪問指導合同研修会	教育機会確保法の趣旨を踏まえ、不登校児童生徒の学習支援を行う関係機関による情報交換及び協議を通して、学校と関係機関の連携を強化する。	・県内の不登校児童生徒の現状と課題 ・「はつらつ体験塾」の取組 ・適応指導教室、市町村教育委員会の実践発表 ・民間団体による実践発表 ・学校と関係団体のグループ協議	・講義 ・実践発表 ・情報交換・協議	9月9日
94	高等学校等生徒指導連絡協議会	高等学校等の生徒指導上の課題について幅広い知識と態度および技能を身に付け、その資質や指導力の向上を図る。	・当面する生徒指導上の課題等 ・生徒指導上の課題等に関するグループ協議、情報交換	・グループワーク等 ・講師による講義	5月
95	児童生徒の自殺予防に関する普及啓発協議会	<文部科学省共催による北陸ブロック会場として開催予定> 児童生徒の自殺予防等に関する対応について周知するとともに、講義、演習等を通じて基礎的、実践的な知識を深めることで、各学校、地域における児童生徒の自殺予防等に資する取組を推進する。	・自殺予防に関する文部科学省の行政説明 ・自殺予防に関する講義	・説明 ・講義	7月
96	自殺予防に係る研修会	自殺予防の取組強化のために、自殺予防に係る教職員の知識等の向上、校内における自殺予防に係る共通認識の形成と強化を図る。	・自殺予防に関する理解と対応等	・講義	6月
97	いじめ対策推進教員研修会	いじめ防止対策推進法、いじめ防止基本方針等に基づく対応、重大事態への対応について留意すべき点を考察することで、いじめの防止および適切な対応に関する資質の向上を図る。	・法令等に基づく対応 ・重大事態への対応	・グループ協議・情報交換 ・講義 ・説明	6月
98	キャリア教育情報交換会	「夢や希望をかかなえる小学校キャリア教育モデル事業」を実施している市町村教育委員会や学校関係者を中心に、各学校におけるキャリア教育のあり方を考える。	・小・中・高等学校におけるキャリア教育 ・「キャリア・パスポート」について ・学習指導要領におけるキャリア教育の充実への理解	講義 協議	9月29日
99	ルールとリレーションで子どもの笑顔をつくる学級経営力向上講座	学習指導要領の趣旨を実現する土台となる学級経営について、自己の実践を特別活動や特別支援教育、法令等の観点から見直し、工夫・改善することをとおして学級経営の力量の向上を図る。	新学習指導要領の趣旨の実現を支える学級経営力 学級経営における特別な配慮を要する児童生徒への対応 自己の学級経営における課題と対策 自己の学級経営における課題の解決 法令からみた学級経営における保護者対応 学級経営におけるポイントづくり 自己の学級経営の振り返り	講義 講義 協議・演習 協議・演習 講義 協議・演習 演習	5月7日 10月19日

番号	講座名	目的	内容	方法	期日
100	学校安全教育指導者研修会	小・中・高・特別支援学校の学校安全教育指導者の養成を行い、学校における安全教育の充実に資する。	・学校事故及び交通事故の実態について ・防犯教育について ・防災教育について ・学校安全の現状と課題について	講義、演習	7月8日 下越地区対象
101	危機管理講座	自校の危機管理における課題を明確にし、防災教育及び学校安全に係る幅広い情報を得ることで、各校における危機管理体制の整備や防災教育の充実に資する。	学校の危機管理 危機管理マニュアルの見直し 危機管理想定演習	講義 講義 演習	10月14日
102	水泳プール安全管理講習会	学校のプールにおける事故を未然に防止するために、安全管理の内容と方法について施設管理者・水泳指導者等を対象とした講習会を実施する。	・プールの維持・管理と事故防止 ・水難事故の防止 ・水上安全法(救命救急法、AED)	講義 講義 実技	上越地区 6月3日 中越地区 6月11日 下越地区 6月10日
103	登山部顧問等安全登山講習会	那須雪崩事故をはじめとした過去の遭難事故事例及びその発生原因、また、スポーツ事故・外傷・障害の防止に関する知識等の理解を深めることで指導力向上を図る。	・登山の基礎知識について ・登山計画の立案について ・登山活動集の留意事項について	講義、演習	7月から11月で実施
104	統合型校務支援システム導入に係る研修	統合型校務支援システムの円滑な導入・稼働を実現するため、システムについての知識・技能を習得する。	システムの使用法についての講義、実習	講義、実習	9月～2月
105	小・中・特別支援学校新任校長、幼稚園新任園長研修	特色ある学校づくりを進めるため、学校経営における組織マネジメントの考え方や人権教育、同和教育、危機管理の在り方について理解を深め、校長としての資質・能力の向上を図る。	学校組織マネジメントと教職員評価：分散会場型 本県義務教育の現状と課題：分散会場型 教員のメンタルヘルス：分散会場型 Web配信集計システムの活用について：分散会場型 学校経営の現状と課題：分散会場型 学校経営を担う新任校長、新任園長として 人権教育、同和教育の推進：分散会場型 学校経営の実際 ～危機管理における校長のリーダーシップ～ 組織リーダーの要件とコミュニケーション：分散会場型 業務・組織の見直しと次年度への展望：分散会場型	講義 講話 講義 講義 演習・協議 講話 講話 講義 演習・協議	5月28日 10月12日
106	高等学校新任校長研修	特色ある学校づくりを進めるため、高等学校教育における今日的な課題、組織マネジメントの考え方や危機管理の在り方について総合的に理解を深め、校長としての資質・能力の向上を図る。	本県高等学校教育の現状と課題 今必要とされる生徒指導の在り方について 学校経営の実際 - 働き方改革の取組 - 自校の課題解決に向けて 学校組織マネジメント 組織マネジメントの視点からの自校の課題解決 学校におけるICTの活用について 勤務校受講型(Share Point, YouTube) 人権教育、同和教育の推進 勤務校受講型(Share Point, YouTube) 教員のメンタルヘルス 勤務校受講型(Share Point, YouTube) 学校予算の成り立ち 勤務校受講型(Share Point, YouTube) メディア対応を含めた危機管理 勤務校受講型(Share Point, YouTube) リーダーシップとマネジメント - 民間の組織経営 - 報道対応と報道発表資料 模擬記者会見	講話 講話 講義 講義 協議 講話 講話 講義 講話 講義 演習	5月14日 6月16日 9月10日
107	幼・小・中・特別支援学校新任教頭研修	校長の補佐役としての教頭の在り方と組織マネジメントについて理解を深め、学校・園を活性化していくための教頭としての資質・能力の向上を図る。	学校組織マネジメントと教職員評価：分散会場型 本県義務教育の現状と課題：分散会場型 教頭の実務～危機管理と教育関係法規～：分散会場型 人権教育、同和教育の推進：分散会場型 学校経営の現状と課題：分散会場型 教員のメンタルヘルス：分散会場型 組織の活力を引き出すコミュニケーション：分散会場型 新任教頭に期待すること：分散会場型 業務組織の見直しと次年度への展望：分散会場型	講義 講話 講話 講義 演習・協議 講話 講話 講義 演習・協議	5月17日 10月7日
108	高等学校新任教頭研修	教頭としての職務と本県高等学校教育の今日的な課題、組織マネジメントの考え方を生かした学校経営の在り方等について総合的に理解を深め、教頭としての資質・能力の向上を図る。	本県高等学校教育の現状と課題 集合型 今必要とされる生徒指導の在り方について 集合型 働き方改革に向けた教頭の役割について 集合型 教頭の役割と実務 集合型 働き方改革が求められる中で自校の課題解決にどのように取り組むか 学校におけるICTの活用について 勤務校受講型(Share Point, YouTube) 人権教育、同和教育の推進 勤務校受講型(Share Point, YouTube) 教員のメンタルヘルス 勤務校受講型(Share Point, YouTube) 学校予算の成り立ち 勤務校受講型(Share Point, YouTube) 人材育成とコーチング 勤務校受講型(Share Point, YouTube) 特別支援教育の推進 集合型 組織づくりについて 集合型 学校組織マネジメント 集合型(NITS動画) 働き方改革が求められる中で自校の課題解決にどのように取り組むか 集合型	講話 講話 講話 講義 協議 講話 講話 講義 講話 講話 講義 講話 講話 協議	5月21日 6月23日 9月15日
109	教職員等中央研修(校長研修)	学校が直面する課題に組織的に対応し、特色ある教育活動を自律的に推進するマネジメント力と、各地域の教職員の専門性向上を牽引する人材育成・研修推進力を習得し、研修後にその成果を活用することを通じて、各地域において中心的な役割を担う校長を育成する。	・学校組織マネジメント ・カリキュラム・マネジメント ・スタッフ・マネジメント ・リスク・マネジメント	講義、演習、協議	小学校長等 6月14日～6月18日 中学校長等 9月6日～9月10日 高等学校長等 7月5日～7月9日
110	教職員等中央研修(副校長・教頭等研修)	学校が直面する課題に組織的に対応し、特色ある教育活動を自律的に推進するマネジメント力と、各地域の教職員の専門性向上を牽引する人材育成・研修推進力を習得し、研修後にその成果を活用することを通じて、各地域において中心的な役割を担う副校長・教頭等を育成する。	・学校組織マネジメント ・カリキュラム・マネジメント ・メンタルヘルス・マネジメント ・リスク・マネジメント	講義、演習、協議	小・中学校教頭等 8月2日～8月6日 または 9月27日～10月1日 高等学校教頭等 9月13日～9月17日

番号	講座名	目的	内容	方法	期日
111	養護教諭健康相談講座	多様化する児童生徒の心の問題に的確に対応するため、講義・演習をとおして保健室における健康相談に必要な専門的知識の習得と相談技術の向上を図る。	<集合型研修> 児童生徒の心の健康と精神症状の理解 自校の保健室における健康相談の実際 健康相談の進め方	講義 講義・グループ協議 講義・演習	10月21日 10月22日
112	食育運営研修会	学校給食の円滑な運営と食事内容の多様化を目指し、栄養教諭・学校栄養職員の専門的知識の習得及び資質の向上を図るため研修を行い、学校における食育の充実を図る。	・学校における食育 ・衛生管理、栄養管理	講義、実践発表、研究協議、講演	11月5日
113	中堅教諭等資質向上研修(学校栄養職員)	中堅学校栄養職員として、指導的役割を担うことができるよう、高度な専門的知識や技能を習得し、指導力の向上を図る。	・学校における食育 ・衛生管理、栄養管理 ・授業研修 ・食物アレルギー対応	講義、実践発表、研究協議	5月10日、8月25日、 8月30日、12月27日
114	学校事務職員新規採用者研修	新採用学校事務職員に必要な基本的事項や専門的知識・技能についての研修を行い、その資質の向上を図るとともに、実践力を養い、学校事務の円滑な実施運営に資する。	・県の重要課題と事務職員の役割 ・教職員の服務と勤務、学校事故 ・学校事務の在り方 ・給与事務 ・情報モラルと情報管理	講義、協議、演習	6月15・16日
115	学校事務職員主事キャリア(5年目)研修	学校事務職員に必要な知識、実務についての研修を行い、その資質の向上を図るとともに、実践力を養い、学校事務の円滑な実施運営に資する。	・県の重要課題と事務職員の役割 ・教職員の服務と勤務、学校事故 ・学校事務の効率的な運営 ・特別な支援を必要とする児童生徒への対応 ・児童生徒理解	講義、協議、演習	6月16・17日
116	学校事務職員新任主任研修	中堅学校事務職員に必要な知識、高度な実務についての研修を行い、その資質の向上を図るとともに、実践力を養い、学校事務の円滑な実施運営に資する。	・教育行政施策と事務職員の役割 ・クレーム対応と保護者・地域理解 ・学習指導と事務職員の役割 ・法令解釈(実務における応用) ・特別支援教育	講義、協議、演習	9月15・16日
117	学校事務職員新任主査研修	共同実施のグループ長や中心的役割を果たす主査として必要な知識、より高度な実務についての研修を行い、その資質の向上を図るとともに、実践力を養い、学校事務の円滑な実施運営に資する。	・教育行政施策と事務職員の役割 ・リーダー論 ・リスクマネジメント ・キャリアデザイン ・特別支援教育	講義、協議、演習	9月16・17日
118	学校事務職員新任事務主幹研修	共同実施のグループ長や市町村における学校事務改善に必要な知識、より高度な実務についての研修を行い、その資質の向上を図るとともに、実践力を養い、学校事務の円滑な実施運営に資する。	・本県義務教育の現状と課題 ・学校組織マネジメントと教職員評価 ・戦略マネジメントと学校改革 ・組織の設計と運営、会議の運営手法 ・危機管理と教育関係法規	講義、協議、演習	5月17日 10月7日
119	学校事務共同実施関係者研修(全県推進協議会含む)	学校事務共同実施の意義や目的を確認し、その円滑な推進を図るために、各地域における実践と課題を全県的に共有するとともに、マネジメントに係る理論や実践方法を習得したり、文部科学省や県の教育行政施策に関する理解を深めたりして、学校経営に参画する使命感を醸成する。	・共同実施の意義と運営方法 ・学校組織マネジメントの推進 ・共同実施のあり方	講義 演習 実践発表、協議	10月28日
120	教職員等中央研修(事務職員研修)	学校の適切な運営、特色ある教育活動の推進のための高度で専門的知識等を習得させ、各地域の中核として教育に取り組む事務職員を育成する。	・学校組織マネジメント ・財務マネジメントとカリキュラム・マネジメント ・スタッフマネジメントとコミュニティマネジメント ・リスクマネジメント ・学校組織マネジメントと事務職員の役割	講義、演習、事例研究	6月14日～6月18日 または 7月12日～7月16日 または 9月6日～9月10日 または 11月8日～11月12日
121	新潟県立高等学校実習助手初任者研修	本県高等学校教育の現状と課題についての理解を深めるとともに、実習助手として、実践的指導力や使命感を養い資質の向上を図る。	・高等学校教育の現状と課題 ・教育法規 ・人権教育、同和教育の現状と課題	講話	11月中旬
122	実習助手教育一般研修	個々の能力や適性等に応じて、実習助手としての専門性を高めるとともに、本県学校教育の課題についての理解を深め、資質能力の向上を図る。	{集合型} ・教育法規について ・新潟県学校教育の現状と課題 ・人権教育、同和教育について ・いじめの現状と未然防止について ・発達障害の理解と支援 ・他校訪問による実地研修	講義 講義 講義 講義 講義・演習 授業参観	全体研修 10月7日 個別研修 11月～12月 の1日
123	実習助手専門研修	これまでの経験を踏まえて個々の能力や適性等に応じて、実習助手としての専門性を一層高めるとともに、本県学校教育の課題についての理解を深め、資質能力の向上を図る。	{集合型} ・教育法規について ・新潟県学校教育の現状と課題 ・人権教育、同和教育について ・いじめの現状と未然防止について ・発達障害の理解と支援 ・情報教育について ・情報モラルと著作権 ・ICTの活用 ・全体研修を振り返って ・他校訪問による実地研修	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・演習 協議・演習 授業参観	全体研修 10月7日、10月8日 教科別研修 11月～12月の1日
124	理科実習助手実技講習(教科)	理科実習助手の資質の向上を図り、理科教育を充実させるために開設する。	・物理・化学・生物に関する講義、演習、実験等	講義、演習、実験	10月下旬
125	新潟県立理科実習助手教員資格認定講座	理科実習助手の資質の向上を図り、理科教育を充実させるため研修を行い、教職員免許法附則第9項に定める普通免許状と同程度の知識・能力を有すると認められる者に対し認定証を授与するために開設する。	・情報工学に関する講義・演習	講義・演習等	9月下旬
126	産業教育実習助手研修会	高等学校の産業教育に関する教科・科目を担当する実習助手に対して、職務に必要な最新の知識・技術を習得させ、資質の向上を図る。	・各教科概論、実践、教育法	講義、演習	8月のうち5日

番号	講座名	目的	内容	方法	期日
127	寄宿舎指導員教育一般研修	寄宿舎指導員としての個々の能力や適性等に応じて、専門性を高めるとともに、本県学校教育の課題についての理解を深め、資質能力の向上を図る。	全体研修(1日)<集合型研修> 本県の特別支援教育の現状と課題 人権教育、同和教育の現状と課題 教育法規 発達障害の理解と支援 児童生徒対応について 個別研修(1日):訪問型体験研修 当校の寄宿舎指導員について 寄宿舎教育における課題についての協議 児童生徒への指導補助 研修のまとめ	講義 講義 講義 講義 グループ協議 講義・寄宿舎参観 研究協議 実践研修 発表	全体研修 10月1日 個別研修 11月中の1日
128	寄宿舎指導員専門研修	寄宿舎指導員としての専門性を高め、他の指導員や学校職員、他機関との連携の実働ができる中堅指導員としての資質能力の向上を図る。	<集合型研修> 円滑な校内連携の実現に向けて 児童生徒一人一人への適切な支援の在り方について 人と関わる力の向上を目指した取組 生活技能の向上を目指した取組	講義 グループ協議・全体発表	7月2日
129	寄宿舎主任指導員資格認定講座	特別支援学校の円滑な運営に寄与するとともに、指導的立場である寄宿舎指導員を対象に、その資質の保持と向上を図り、併せて寄宿舎主任指導員昇任要件である「寄宿舎主任指導員資格認定証」を取得するために必要な単位を修得させる。	・教育公務員の使命及び服務・勤務 ・特別支援教育に関する指導方法 ・障害児の発達と心理 ・特別支援教育の課題と適正就学	講義 グループ協議	8月2日～4日
130	学校技術員(用務・農務)研修会(県立学校)	県立特別支援学校の学校技術員(用務・農務)を対象に専門知識の研修を行う。	・学校用務に関する講義等	講義、講習	7月～8月中の1日
131	調理師研修会(県立特別支援学校)	県立特別支援学校の調理師を対象に専門的知識の研修を行う。	・調理業務に関する講義等	講義	7月～8月中の1日
132	司書研修会	県立高等学校の司書として必要な基礎知識の習得、資質の向上を図るために研修を行う。	・図書館業務に関する講義等	講義	10月～11月中の1日
133	県立学校配置ALT研修会	県立学校配置のALTに対し、チーム・ティーチングの指導力向上を図り、授業研究を行うとともに、生活適応指導を行う。	・教材研究(指導案の作成と教材の工夫) ・授業研究(公開授業見学及び評価) ・生活適応指導(日本語指導と生活上の問題点についての話し合い)	授業研究、協議	10月下旬の1日間
134	外国語指導助手(ALT)の指導力等向上研修	語学指導に従事する外国語指導助手(ALT)に対し、一層効果的な指導ができるよう必要な知識・指導技術等を習得させるとともに、日本人英語教諭(JTE)とともに外国語教育に係る諸問題について研究協議を行う。	・効果的なチーム・ティーチング ・効果的なテキストの使用法 ・動機付け ・授業に使えるドラマ・ゲーム ・評価について ・再任用について	講演、実践発表、協議	1月18日・19日
135	給食運営研修会	食育の指導、学校給食における食物アレルギー事故防止、食中毒防止対策等の学校給食に係る諸課題について理解し、関係者の資質・能力の向上を図る。	・学校における食育 ・危機管理 ・衛生管理	講義、実践発表	7月9日
136	保幼小合同研修会	幼児教育に関する内容、幼稚園等の運営・管理、保育技術等に関する専門的な講義、研究協議を行うことにより、幼児教育の振興・充実を図る。幼稚園教員、保育士と小学校教員等の合同研修により、相互理解を深め、幼児教育と小学校教育との円滑な接続の在り方について共通理解を図る。	・幼児教育の教育課程 ・幼稚園等の運営、管理 ・幼児教育と小学校教育との違いや子供の発達と学びの連続性	講義 実践発表 グループ協議	上越 8月下旬 中越 8月下旬 下越 8月下旬
137	公立義務教育諸学校臨時職員研修	公立義務教育諸学校に勤務する臨時職員が公教育に携わる者としての心構え及び服務勤務等に関する事項を研修することを通して、教職員としての資質向上を図る。	・当県教育の課題 ・公立学校教職員の服務・勤務 ・人権教育、同和教育	講義・講話	上越 5月17日 下越 5月11日 佐渡 5月13日 中越 5月20日
138	養護教諭ミドルリーダー入門講座	現代的健康課題についての専門的知識と、ミドルリーダーとして課題の解決に向けて組織に働き掛ける力を身に付け、学校や地域において中核的な役割を果たす養護教諭を育成する。	<集合型研修> 養護教諭ミドルリーダーの役割 学校・地域におけるリーダーの取組 健康相談における学校保健マネジメント 地域におけるミドルリーダーの役割 学校や地域の中核となるために	講義 実践発表 演習 演習 演習 講義	11月18日 11月19日
139	教務主任研修会	高等学校及び中等教育学校の教務主任を対象に、学習指導要領の趣旨及び内容等の周知・徹底を図るとともに、教育関係法規について理解を深めることにより、各校の教育活動等の充実と、円滑な校務運営を図る。	・学習指導要領の趣旨等・教育関係法規 ・学習指導要領実施における課題	講演・講話	10月
140	小・中・特別支援学校新任主幹教諭研修	主幹教諭としての職務、学校教育の今日的課題、組織マネジメントの考え方等について総合的に理解を深め、主幹教諭としての資質・能力の向上を図る。	新任主幹教諭に望むこと:勤務校オンライン型 (TeaRoomまたはzoom) 主幹教諭の業務:勤務校オンライン型 (TeaRoomまたはzoom) 学校の活性化と組織マネジメント:勤務校オンライン型 (TeaRoomまたはzoom) 学校課題の解決に向けて:勤務校オンライン型 (TeaRoomまたはzoom)	講義 実践発表 講義 演習・協議	5月12日
141	教職員等中央研修(中堅教員研修)	学校が直面する課題に組織的に対応し、特色ある教育活動を自律的に推進するマネジメント力と、各地域の教職員の専門性向上を牽引する人材育成・研修推進力を習得し、研修後にその成果を活用することを通して、各地域において中心的な役割を担う中堅教員等を育成する。	・教育法規 ・スクール・コンプライアンス ・学校組織マネジメント ・リスクマネジメント	講義、演習、協議	小学校教諭等 7月26日～7月30日 中学校教諭等 8月16日～8月20日 高等学校教諭等 5月24日～5月28日
142	カリキュラム・マネジメント開発研修	校長のリーダーシップの下、組織的・計画的に「カリキュラム・マネジメント」を展開するための手立て、カリキュラムの自己点検・評価に関する手法等、「カリキュラム・マネジメント」を円滑に行うために必要となる知識等を習得し、各学校や地域における研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。	・学校組織マネジメントの在り方 ・学校運営におけるカリキュラム・マネジメントの在り方	講義 演習・討議 実践発表 講演	10月13日～10月15日 11月24日～11月26日 12月1日～12月28日(学習管理システムによる講義動画の配信)

番号	講座名	目的	内容	方法	期日
143	体力向上マネジメント指導者養成研修	校長のリーダーシップの下、日々の教育活動、学校の資源を一体的にマネジメントした、各学校や地域の実態等に即した体力向上を図るための手法等を習得し、各学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。	・子供の体力向上を図るための指導者の役割 ・学校組織マネジメントの在り方 ・学校運営におけるカリキュラム・マネジメントの在り方 ・体育活動中の事故防止について ・学校全体で取り組む体力向上に関するマネジメントの在り方、実践と課題等	講演 講義 演習	7月上旬予定 独立行政法人教職員 支援機構
144	学校安全指導者養成研修	地域・学校において児童生徒等の安全確保が図られるよう、学校安全における三領域(生活安全・交通安全・災害安全)に関し、必要な知識等を習得し、学校安全に関する諸課題の改善及び教職員の専門性向上に、指導・助言等を行うことができる指導者の養成を図る。	・学校安全の現状と課題 ・発達段階に応じた効果的な教育と組織活動 ・学校事故事例について ・危機管理体制の現状と課題 ・想定外の状況における危機管理の在り方 ・学校の危機管理マニュアルの見直し	講義動画の配信(オンライン)	8月2日～8月31日 独立行政法人教職員 支援機構
145	教育相談基幹研修	日々の教育活動、学校の資源と外部関係機関等をマネジメントした組織的な教育相談体制を構築し、効果的に教育相談を実践するための手法等を習得する。	・「チーム学校」の構築と生徒指導・教育相談 ・教育相談の在り方 ・教育相談の効果的な実践 ・「チーム学校」の構築 ・教育相談に関するマネジメントの推進	講義 演習	6月2日(水)～6月4日(金)
146	学校教育の情報化指導者養成研修	ICTを活用した授業を展開するための手立て、特色ある教育課程の編成や学校課題解決のためのICT活用戦略づくり等、ICTを活用して教育活動の改善を行うため、各学校のマネジメントを推進する指導者として必要な知識等を習得する。	・情報教育・ICT機器活用・校務の情報化に関する講義、実習、演習	講義、実習、演習	1月～2月
147	産業・情報技術等指導者養成研修	学校における実習等の授業の質の向上を図るため、急速に発展・進歩する産業技術、情報技術等について、最新の知識・技術を習得する。	専門教科(農業、工業、商業、水産、家庭、福祉、情報)指導に関する講義、実習、演習	講義、実習、演習	7月～8月
148	幼児教育指導者研修	幼児教育を担当する指導主事等に対し、幼児教育の指導の充実や小学校教育との円滑な接続、評価を含めたカリキュラム・マネジメントの適正な実施など、幼児教育の指導者として必要な知識を習得させ、各学校や地域における研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。	・幼児教育の教育課程 ・幼稚園等の運営、管理 ・幼児教育と小学校教育との違いや子供の発達と学びの連続性 ・評価やマネジメントの在り方	講義 講義 講義・グループ協議 講義・演習・発表	12月
149	上越教育大学大学院派遣	公立小・中・高等学校及び特別支援学校の教員を大学院に派遣し、資質の向上と指導力の充実に図り本県教育の振興・発展に資する。	総合的、先行的な教育研究 ・学校教育専攻 心理臨床コース、学校教育深化コース 国際理解・日本語教育コース、教職キャリア支援コース	講義、演習、課題研究、論文	2年
150	上越教育大学教職大学院派遣	公立小・中・高等学校及び特別支援学校の教員を教職大学院に派遣し、資質の向上と指導力の充実に図り本県教育の振興・発展に資する。	教育実践能力の高度化のための教育研修 ・教育実践高度化専攻	講義、演習、実習、教育実践に関するレポート等	2年、1年
151	新潟大学教職大学院派遣	公立小・中・高等学校及び特別支援学校の教員を教職大学院に派遣し、資質の向上と指導力の充実に図り本県教育の振興・発展に資する。	総合的、先行的な教育研究 ・教育実践開発専攻	講義、演習、課題研究、論文	2年
152	高等学校教員内地留学	公立高等学校教諭を大学・大学院又は研究機関等に派遣し、各教科又は生徒指導等に係る専門的な知識及び技術を習得させ、その資質能力の向上を図る。	各教科、生徒指導等	派遣研修	4月～3月のうち、6ヶ月
153	実践力向上研修	各学校の実態に即した実践的な指導力を身に付けさせるため、指導主事を派遣して教科等に係る校内研修等を支援する。	各教科等 教育相談 特別支援教育	講義・授業研究・協議・演習 ただし、必要に応じて、Zoom等のオンライン会議システムを活用した研修の依頼にも応じる。	5月下旬～2月上旬 (希望する学校・園と調整)
154	指導力ステップアップ研修	「新潟県立教育センター」において「指導力の回復・向上のための研修」を命じられた教職員に対して一定期間の研修を行い、児童生徒に対する指導力の回復や教員としての資質向上を図り、職場復帰を目指す。	受講者の課題に応じた内容	講義・授業研究・協議・演習	4月1日～3月31日